

研究業績目録

「英文原著」

1. Conway TF, Sabel MS, Sugano M, Frelinger JG, Egilmez NK, Chen F, Bankert RB: Growth of human tumor xenografts in scid mice quantified using an immunoassay for tumor marker protein in serum. *J Immunol Methods* 233 57-65 2000 IF:1.955
2. Sugano M, Egilmez NK, Yokota SJ, Chen F, Harding J, Huang SK, Bankert RB: Antibody targeting of doxorubicin loaded liposomes suppresses the growth and metastatic spread of established human lung tumor xenografts in scid mice. *Cancer Res* 60 Dec 15 6942-6949 2000 IF:8.46
3. Sugano M, Conway TF, Kelleher RJ, Sugiyama Y, Chen F, Bankert RB, Bernstein SH: Human dendritic cells pulsed with autologous Epstein-barr virus transformed b-cell lymphoblastoid(bcl) lysate elicit a bcl specific mhc-class II restricted t-cell response. *J Exp Clin Cancer Res* 20 175-182 2001 IF:0.754
4. Abra RM, Bankert RB, Chen F, Egilmez NK, Huang K, Saville R, Slater JL, Sugano M, Yokota SJ: The next generation of liposome delivery systems: recent experience with tumor-targeted, sterically-stabilized immunoliposomes and active-loading gradients. *J Liposome Res* 12 1-3 2002
5. Sato S, Kajiyama Y, Sugano M, Iwanuma Y, Tsurumaru M: Flavopiridol as a radio-sensitizer for esophageal cancer cell lines. *Dis Esophagus* 17 338-344 2004 IF:0.797
6. Sato S, Kajiyama Y, Sugano M, Iwanuma Y, Sonoue H, Matsymoto T, Sasai K, Tsurumaru M: Monoclonal antibody to her-2/neu receptor enhances radiosensitivity of esophageal cancer cell lines expressing her-2/neu oncoprotein. *Int J Radiat Oncol Biol. Phys.* Vol 61 203-211 2005 IF:4.556
7. Sakamoto K, Machi J, Prygrocki M, Watanabe T, Hosoda S, Sugano M, Tomiki Y, Kamano T : Comparison of characteristics and survival of colorectal cancer between Japanese-Americans in Hawaii and native Japanese in Japan . *Dis Colon Rectum*, Jan;49(1):50-57 2006 IF:2.442
8. Sato S, Kajiyama Y, Sugano M, Iwanuma Y, Sonoue H, Matsumoto T, Tsurumaru M : Alvocidib(Flavopiridol) suppresses tumor growth in SCID mice with human esophageal cancer xenografts without inducing apoptosis . *Surg Oncol*, 15 107-113 2006
9. Takeda R, Kamano T, Sakamoto K, Sugano M, Hosoda S, Watanabe T, Maeda T,

Kojima Y: Methylenetetrahydrofolate Reductase C677T is Not Associated with Expression of Pyrimidine Metabolic Enzyme Genes in Colorectal Cancer. The Journal of the International Medical Research, 34 307-315 2006

10. Hirasaki Y, Fukunaga M, Sugano M, Nagakari K, Yoshikawa S, Ouchi M : Short-and long-term results of laparoscopic surgery for transverse colon cancer. Surg Today. 44 1266-1272 2014

「和文原著」

1. 菅野雅彦、石黒 陽、小出 真、榊原 宣：胃原発血管周皮腫の1例。
日消外会誌 27 1984-1988 1994
2. 渡邊英章、岡原仁志、東山明憲、菅野雅彦、西村和彦、榊原 宣：手術侵襲による血行性転移促進についての検討。日消外会誌 29 863-867 1996
3. 菅野雅彦：手術侵襲の免疫学的影響と術前 BRM 経口投与の効果に関する基礎的検討。
日外科系連合誌 21 747-755 1996
4. 三枝奈芳紀、三枝一雄、布村正夫、小田健司、塩崎哲三、菅野雅彦：脾原発濾胞性悪性リンパ腫の1例。日消外会誌 31 1802-1806 1998
5. 佐藤真輔、内田陽介、酒井康孝、前川 博、菅野雅彦、坂本修一、富木裕一、坂本一博、溝渕 昇、鎌野俊紀、鶴丸昌彦、平井 周：術前ホルモン療法が有用であった腸管子宮内膜症の1例。日臨外会誌 61 1882-1887 2000
6. 高山敏夫、菅野雅彦、鎌野俊紀、鶴丸昌彦、林田康男、小林 滋：Low Dose FAP を用いた肝動注化学療法が著効した AFP 産生胃癌多発性肝転移の1例。
日外科系連合誌 27 902-907 2002
7. 菅野雅彦、鶴岡優子、松田光弘、坂本一博、鎌野俊紀、鶴丸昌彦：
下部白線ヘルニアの1例。日臨外会誌 64 2037-2040 2003
8. 菅野雅彦、安藤隆夫、富田夏実、梶山美明、鎌野俊紀、鶴丸昌彦：反復内視鏡治療で根治した1例食道憩室随伴食道気管支瘻の1例。日臨外会誌 64 2700-2704 2003
9. 菅野雅彦、那須元美、塚田健次、高山敏夫、北島政幸、安藤隆夫、信川文誠、梶山美明、鎌野俊紀、鶴丸昌彦：腹腔内出血をきたし発見された脾臓原発血管肉腫の1例。
日消外会誌 36 1688-1693 2003
10. 菅野雅彦、橋本貴史、五藤倫敏、渡部 英、奥澤淳司、松田光弘、坂本一博、

鎌野俊紀: 腹腔鏡下大腸切除後ドレーン挿入部ポート孔に発生した Richter's hernia の 1 例. 日消内視鏡会誌 46 42-46 2004

11. 菅野雅彦、橋本貴史、工藤圭三、梶山美明、鎌野俊紀、鶴丸昌彦: ソマトスタチンアナログの有効性が示唆された食道癌術後乳糜腹水の 1 例. 日臨外会誌 65 366-370 2004

12. 松田光弘、富木裕一、渡部 英、河井 健、渡部智雄、菅野雅彦、坂本一博、中村眞二、鎌野俊紀: 大腸癌の肝転移症例における flk-1 の発現と腫瘍先進部微小血管密度についての検討. 日外科系連合誌 29 842-847 2004

13. 菅野雅彦、鶴丸昌彦、梶山美明、橋本貴史、信川文誠、林田康男: 胃癌胃全摘術後 13 年目の吻合部再発に対し再切除を施行した 1 例. 日臨外会誌 65 2913-2917 2004

14. 坂本一博、奥澤淳司、北島政幸、笠巻伸二、渡部 英、松田光弘、菅野雅彦、鎌野俊紀: 左側大腸癌における機会吻合(DST)を用いた腹腔鏡下大腸手術の術中合併症について. 日内視鏡外会誌 第 10 巻 317-323 2005

15. 菅野雅彦、新村光司、柳沼行宏、渡部智雄、坂本一博、鎌野俊紀: 完全内臓逆位症に穿孔性腹膜炎で発症した小腸悪性リンパ腫の 1 例. 日臨外会誌 66 1945-1949 2005

16. 小島 豊、鎌野俊紀、坂本一博、富木裕一、菅野雅彦、渡部智雄、奥澤淳司、笠巻伸二、瀧田尚仁: 児頭吸引器で摘出した直腸内異物の 1 例. 日外科系連合誌 30 648-651 2005

17. 新村光司、菅野雅彦 石井（堤）裕子、坂本一博、長岡 功、鎌野俊紀: 大腸癌における末梢血中遊離細胞の検出とその臨床的意義. 順天堂医, 52 406-414 2006

18. 福永正氣、杉山和義、菅野雅彦、永仮邦彦、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、平崎憲範: 腹腔鏡下手術における腸管損傷に対する術中・術後の対処法. 日内視鏡外会誌 12 261-266 2007

19. 須田 健、福永正氣、津村秀憲、杉山和義、永仮邦彦、菅野雅彦、吉川征一郎、木所昭夫: 乳管内視鏡による乳管内乳頭腫の治療成績の検討. 日臨外会誌 68 2437-2441 2007

20. 吉川征一郎、福永正氣、杉山和義、永仮邦彦、菅野雅彦、李 慶文、須田 健、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、津村秀憲: 減圧後に施行した癌性腸閉塞に対する腹腔鏡下大腸切除の適応と限界. 日腹部救急医会誌 28 53-58 2008

21. 勝野剛太郎、福永正氣、永仮邦彦、菅野雅彦、須田 健、吉川征一郎、伊藤嘉智、平崎憲範: 高度炎症性虫垂炎（壊疽性・穿孔性・膿瘍形成）に対する腹腔鏡下

22. 杉本起一、永仮邦彦、菅野雅彦、杉山和義、津村秀憲、福永正氣:腸重積を発症した巨大横行結腸脂肪腫の1例.日外科系連合誌 34 238-242 2009
23. 杉本起一、福永正氣、飯田義人、菅野雅彦、杉山和義、津村秀憲:術前診断が困難であった直径70mmの高分化型肝細胞癌の1例:日臨外会誌 71 174-179 2010
24. 飯田義人、福永正氣、津村秀憲、李 慶文、永仮邦彦、須田 健、菅野雅彦、吉川征一郎、伊藤嘉智、勝野剛太郎、大内昌和、平崎憲範:ガイドラインにのっとり急性胆嚢炎に対する腹腔鏡下手術の検討.日腹部救急医学会誌 30 437-441 2010
25. 勝野剛太郎、福永正氣、永仮邦彦、菅野雅彦、李 慶文、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、平崎憲範: pStageII-IIIS 状結腸癌に対する腹腔鏡下手術の評価.日消外会誌 43 609-616 2010
26. 勝野剛太郎、福永正氣、永仮邦彦、菅野雅彦、李 慶文、飯田義人、吉川征一郎、平崎憲範:大腸癌に対しする単孔式腹腔鏡下手術の検討.日内視鏡外会誌 15 469-476 2010
27. 菅野雅彦、福永正氣、鷺尾真理愛、永仮邦彦、李 慶文、津村秀憲:A型胃炎を背景とした多発性胃カルチノイドに対し内視鏡的治療を施行した1例.日外科系連合誌 35 889-894 2010
28. 菅野雅彦、福永正氣、勝野剛太郎、伊藤嘉智、大内昌和、吉川征一郎、飯田義人、永仮邦彦、李 慶文、津村秀憲:逆行性腸重積症を呈した空腸 Peutz-Jeghers 型ポリープに対し腹腔鏡下手術を施行した1例.日消外会誌 44 304-310 2011
29. 李 慶文、福永正氣、菅野雅彦、永仮邦彦、吉川征一郎、大内昌和、勝野剛太郎、伊藤嘉智、平崎憲範、津村秀憲:高齢者に対する腹腔鏡下幽門側胃切除術の検討.日消外会誌 44 1089-1096 2011
30. 伊藤嘉智、福永正氣、菅野雅彦、吉川征一郎、平崎憲範、鷺尾真理愛:腹腔鏡下に診断治療した腹膜刺激症状を有する腸管囊腫様気腫症の1例:日臨外会誌 72 2667-2671 2011
31. 大内昌和、福永正氣、津村秀憲、李 慶文、菅野雅彦、永仮邦彦:腹腔鏡下に摘出した後腹膜 paraganglioma の1例.日臨外会誌 72 (10) 2708-2712 2011
32. 須貝 歩、福永正氣、李 慶文、菅野雅彦、永仮邦彦 勝野剛太郎:単孔式腹腔鏡下臍尾部腫瘍核出術にて治癒切除したインスリノーマの1例.

日臨外会誌 73 432-435 2012

33. 吉川征一郎、福永正氣、李 慶文、永仮邦彦、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、徳田恵美、平崎憲範、夕部由規謙、須貝 歩:腹腔鏡下手術に伴う偶発症への対応 腹腔鏡下手術における術中出血に対する対処.

日腹部救急医学会誌 32 43-47 2012

34. 福永正氣、李 慶文、菅野雅彦、永仮邦彦、吉川征一郎、伊藤嘉智、勝野剛太郎、大内昌和、平崎憲範:腹腔鏡下虫垂切除術の手技の工夫と安全性の評価.

日外科系連合誌 37 12-19 2012

35. 菅野雅彦、福永正氣、永仮邦彦、李 慶文:錠剤型腸管洗浄剤（ビジクリア®）で腎不全を併発したと考えられる上行結腸癌の1例. 日外科系連合誌 37 303-308 2012

36. 菅野雅彦、福永正氣、平崎憲範、伊藤嘉智、大内昌和、李 慶文:多発肝膿瘍をきたした進行性胃癌の1例. 日臨外会誌 73 2549-2554 2012

37. 平崎憲範、福永正氣、李 慶文、菅野雅彦、永仮邦彦、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、勝野剛太郎、大内昌和:「急性虫垂炎の治療法方針の変遷と現状」当院における急性虫垂炎の治療方針. 日腹部救急医学会誌 32 765-770 2012

38. 吉川征一郎、福永正氣、李 慶文、永仮邦彦、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、徳田恵美、平崎憲範、呉 一眞、東 大輔:医原性大腸穿孔に対する腹腔鏡下手術. 日腹部救急医学会誌 33 55-59 2013

39. 平崎憲範、福永正氣、菅野雅彦、永仮邦彦、吉川征一郎、大内昌和、東 大輔:単孔式腹腔鏡下虫垂切除術. 日臨外会誌 74 1286-1289 2013

40. 吉川征一郎、福永正氣、李 慶文、永仮邦彦、菅野雅彦、平崎憲範:緩和手術における腹腔鏡下手術の検討. 日臨外会誌 74 2364-2369 2013

「和文総説」

1. 冨木裕一、菅野雅彦、坂本一博:イレウス管挿入法:必携 診療マニュアル 診断から治療まで: 臨床医 Vol 31 増刊号 1199-1203 2005

2. 福永正氣、杉山和義、永仮邦彦、菅野雅彦、坂本修一、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、勝野剛太郎、津村秀憲、木所昭夫:直腸癌に対する内視鏡下手術.

外科治療 第96巻 43-52 2007

3. 福永正氣、杉山和義、永仮邦彦、菅野雅彦、坂本修一、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、大内昌和、伊藤嘉智、勝野剛太郎、平崎憲範、津村秀憲、木所昭夫: 直腸癌に対する腹腔鏡下手術の成績と問題点. 癌の臨床 53 143-147 2007
4. 永仮邦彦、福永正氣、杉山和義、菅野雅彦、李 慶文、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、大内昌和、伊藤嘉智、勝野剛太郎、平崎憲範、津村秀憲: 腹腔鏡下大腸癌手術の現状と問題点. 癌の臨床 53 733-738 2007
5. 福永正氣、菅野雅彦、永仮邦彦、飯田義人、吉川征一郎、大内昌和、伊藤嘉智、勝野剛太郎、平崎憲範、津村秀憲: 下部消化管手術: 消化管吻合・再建術: 外科治療 98 24-35 2008
6. 福永正氣、杉山和義、菅野雅彦、李 慶文、永仮邦彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、平崎憲範、永易希一、津村秀憲: 直腸癌に対する腹腔鏡下全自立神経温存低位前方切除術. 外科治療 100 164-172 2009
7. 福永正氣、杉山和義、永仮邦彦、菅野雅彦、李 慶文、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、勝野剛太郎、大内昌和、平崎憲範、津村秀憲: 下部直腸癌の治療 3. 腹腔鏡下手術: 外科 71 144-150 2009
8. 福永正氣、杉山和義、永仮邦彦、菅野雅彦、李 慶文、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、勝野剛太郎、大内昌和、平崎憲範、永易希一、津村秀憲: マスターしておきたい標準的内視鏡後外科手術 腹腔鏡下横行結腸切除術. 外科治療 100 増刊 109-119 2009
9. 福永正氣、杉山和義、永仮邦彦、菅野雅彦、李 慶文、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、大内昌和、伊藤嘉智、勝野剛太郎、平崎憲範、津村秀憲: 若い外科医に伝えたい私の手術手技 右側結腸進行癌に対する腹腔鏡下手術. 手術, 63 777-786 2009
10. 福永正氣、杉山和義、菅野雅彦、李 慶文、永仮邦彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、勝野剛太郎、大内昌和、平崎憲範、津村秀憲: 大腸癌に対する腹腔鏡下手術 さらにステップアップのために. 臨床外科 64 1675-1682 2009
11. 福永正氣、永仮邦彦、菅野雅彦、李 慶文、吉川征一郎、伊藤嘉智、勝野剛太郎、大内昌和、平崎憲範、津村秀憲: 消化管再建; 下部消化管器械吻合. 消化器外科 33 469-481 2010
12. 福永正氣、永仮邦彦、菅野雅彦、李 慶文、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、勝野剛太郎、大内昌和、平崎憲範、津村秀憲: 大腸癌に対する小切開のない腹腔鏡下大腸切除. 外科治療 103 501-510 2010
13. 福永正氣、永仮邦彦、菅野雅彦、李 慶文、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、伊藤

嘉智、勝野剛太郎、大内昌和、平崎憲範、津村秀憲:側方郭清術. 臨床外科 65 364-373 2010

14. 福永正氣、菅野雅彦、李 慶文、永仮邦彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、平崎憲範、津村秀憲:[直腸癌]腹腔鏡下直腸切断術・側方郭清術. 臨床外科 65 1676-1682 2010

15. 福永正氣、李 慶文、菅野雅彦、永仮邦彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、勝野剛太郎、大内昌和、平崎憲範、須貝 歩:右側結腸癌に対する単孔式内視鏡手術. 外科診療 105 270-275 2011

16. 福永正氣、永仮邦彦、菅野雅彦、吉川征一郎、勝野剛太郎、平崎憲範: 特集 最新 大腸癌手術 直腸癌に対する腹腔鏡下直腸切断術. 手術 65 1253-1258 2011

17. 大内昌和、津村秀憲、李 慶文、菅野雅彦、永仮邦彦、伊藤嘉智、平崎憲範: 写真とイラストで必須術式の流れ&看護テクニックがまるわかり! 消化器外科 開腹術・内視鏡手術完全マニュアル (第1章) 消化器外科手術の基礎知識消化器外科手術に必要な機能解剖. オペナースィング秋季増刊 60-62 2012

19. 特集 「膜」から迫る消化管手術—私の理解— III. 結腸癌 2. S状結腸癌に対する腹腔鏡下手術—膜に沿った剥離のポイント—: 福永正氣、永仮邦彦、菅野雅彦、吉川征一郎、平崎憲範、東 大輔.
手術 第68巻 第1号 35-40 2014

「和文著書」

1. 菅野雅彦、木所昭夫: 急性腹症. 消化器疾患最新の治療 2007-2008: 編集 菅野健太郎、上西紀夫、井廻道夫. 南江堂 東京 265-269 2007

2. 菅野雅彦: 内視鏡的瘻孔閉鎖術 (充填術) —食道気管支瘻を中心に: DVD-Video で見る1 食道・胃の治療内視鏡. 編集 片山 修、中村真一. MEDICAL VIEW 東京 238-243 2007

3. 菅野雅彦、木所昭夫、伊藤利恵: 急性腹症 (腸閉塞/穿孔性腹膜炎/虫垂炎): 看護に役立つ 疾患・症候事典 病態がわかる ケアがわかる. 監修 永井良三 メディカルフレンド社 東京 410-416 2008

「和文報告その他」

1. 岩沼佳見、渡邊英章、西村和彦、鳴海賢二、日野眞子、菅野雅彦: ヒト固形腫瘍モデルを用いた、腫瘍内直接遺伝子注入による遺伝子導入効率の検討.

Biother 12 789-781 1998

2. 菅野雅彦：平成 13 年度科学研究費補助金実績報告書 研究種目名：奨励研究 A
課題番号 13770711 癌ワクチン療法を目指した Dendritic Cell を用いた免疫療法の研究
3. 坂本一博、松田光弘、北島政幸、菅野雅彦、鎌野俊紀、鶴丸昌彦：開腹既往胆石症に対する腹腔鏡下胆嚢摘出術における肝円索吊り上げの一工夫.手術 57 519-522 2003
4. 折田 創、橋口忠典、菅野雅彦、梶山美明、鎌野俊紀、鶴丸昌彦：肝転移、腹膜播種を伴う malignant GIST に対して、チロシンキナーゼ阻害剤(imatinib)が奏功した 1 例.
手術 57 1417-1421 2003
5. 平崎憲範、福永正氣、菅野雅彦、吉川征一郎、伊藤嘉智、勝野剛太郎、大内昌和、東 大輔：結節形成による腸閉塞を生じた Meckel 憩室の 1 例. 外科 75 611-615 2013

座長

- 1.座長：菅野雅彦；Session I
第 33 回東葛地域消化器疾患研究会 平成 19 年 6 月 16 日 千葉 (2007)
- 2.座長：菅野雅彦；小腸 1
第 810 回外科集談会 平成 20 年 9 月 13 日 東京 (2008)
- 3.座長：菅野雅彦；Session IV
第 37 回東葛地域消化器疾患研究会 平成 21 年 6 月 6 日 千葉 (2009)
- 4.座長：菅野雅彦；基調講演
BMKK 千葉胃がん治療セミナー 平成 21 年 6 月 13 日 千葉 (2009)
- 5.座長：菅野雅彦；胃 II
第 35 回日本外科系連合学会学術集会 平成 22 年 6 月 17 日 千葉 (2010)
- 6.司会：菅野雅彦
大腸癌化学療法 Expert Meeting 主催：武田薬品工業株式会社
平成 23 年 7 月 29 日 千葉 (2011)
- 7.座長：菅野雅彦
ベイサイド大腸治療セミナー 主催：Bristol-Myers 株式会社
メルクセローノ株式会社
平成 23 年 9 月 30 日 千葉 (2011)

8.座長：菅野雅彦

大腸 病理 ポスターセッション

第 112 回日本外科学会定期学術集会 平成 24 年 4 月 14 日 千葉 (2012)

9.座長：菅野雅彦

直腸肛門

第 826 回外科集談会 平成 24 年 9 月 1 日 つくば (2012)

「国際学会発表」

1. Induction of Epstein-Barr Virus Transformed B Cell Lymphoma-Specific Cytotoxic T Lymphocytes In Vitro Using Dendritic Cells Pulsed With Tumor Cell Lysate : Sugano,M., Conway, T.F., Sugiyama,Y., Egilmez,N.K., Chen,F.A., Kelleher,R., Bernstein,S.H., Bankert,R.B.

Second Annual Regional Cancer Consortium for Biological Therapy of Cancer (Rochester, NY) 2/26/1999 (1999)

2. PSA Transfected Human Tumor Xenograft Progression Can Be Monitored By Quantifying PSA in The Serum of SCID Mice : Conway,T.F., Sabel, M.S., Sugano,M., Frelinger,J.G., Egilmez,N.K., Chen,F.A., Bankert,R.B.

Second Annual Regional Cancer Consortium for Biological Therapy of Cancer (Rochester, NY) 2/26/1999 (1999)

3. VH region Peptide Vaccination of Non-Hodgkin Lymphoma Patients : Bankert,R.B., Kelleher,R., Egilmez,N.K., Hess,S., Conway,T.F., Sugano,M., Bernstein,S.H.

Second Annual Regional Cancer Consortium for Biological Therapy of Cancer (Rochester, NY) 2/26/1999 (1999)

4. Targeting of Doxorubicin Loaded Liposomes to Integrins on Human Lung Tumors Suppresses Growth and Metastasis of Tumor Xenografts in Lungs of SCID Mice : M.Sugano, N.K. Egilmez, S.J.Yokota, F.A. Chen, S.K. Huang, M.Tsurumaru, T.Kamano, Y. Iwanuma, R.B.Bankert.

91st Annual Meeting American Association for Cancer Research 4/4/2000

San Francisco 2000

5. Clinical outcome of laparoscopic colostomy for pT1 colorectal cancer: Kamiyama H, Ouchi M, Kitajima M, Okusawa J, Kasamaki S, Sugano M, Sakamoto S, Sakamoto K, Kamano T.

20th World Congress of Gastroenterology, Montreal, 2005.9.10

6. Evaluations of laparoscopic assisted colectomy for transverse colon cancer: Fukunaga M, Kidokoro A, Iba T, Sugiyama K, Sugano M, Nagakari K, Suda M, Yoshikawa S, Katsuno G. 14th international Congress of the European Association for Endoscopic Surgery Berlin Germany 2006.9

7. Usefulness of laparoscopic surgery for perforated or abscess forming appendicitis: Katsuno G, Fukunaga M, Tsumura H, Iba T, Sugiyama K, Sugano M, Nagakari K, Sakamoto S, Iida Y, Suda M, Soshikawa S, Itou Y, Ouchi M, Hirasaki Y, Kidokoro A.

The congress of Endoscopic & Laparoscopic Surgeons of Asia Seoul Korea 2006.10

8. LAPAROSCOPIC SURGERY WITH A PROLAPSING TECHNIQUE FOR LOW RECTAL CANCER :Fukunaga M, Sugiyama K, Nagakari K, Suda M, Yoshikawa S, Sugano M, Itoh Y, Katsuno G, Tsumura S, Sakamoto S.

15th International Congress of the European Association for Endoscopic Surgery Athens Greece 2007.6.4-7

9. 10-YEAR EXPERIENCE WITH LAPAROSCOPY-ASSISTED DISTAL GASTRECTOMY FOR GASTRIC CANCER: Yoshikawa S, Fukunaga M, Tsumura H, Sugiyama K, Nagakari K, Sugano M, Suda M, Katsuno G, Itoh Y, Kidokoro A.

15th International Congress of the European Association for Endoscopic Surgery Athens Greece 2007.6.4-7

10. LAPAROSCOPIC VS OPEN COLON RESECTION FOR THE TREATMENT OF PERFORATED OR COMPLICATED DIVERTICULAR DISEASE (HINCHEY STAGE I AND II) : Goutaro Katsuno , Masaki Fukunaga , Masahiko Sugano , Kunihiro Nagakari, Shuichi Sakamoto, Masaru Suda, Seiichiro Yoshikawa,

The Society of American Gastrointestinal and Endoscopic Surgeons Annual Meeting Philadelphia USA 2008.4.9-12

11. EVALUATION OF LAPAROSCOPY-ASSISTED DISTAL GASTRECTOMY FOR CANCER WITH LYMPHO-NODE METASTASIS: S. Yoshikawa, M. Fukunaga, K. Sugiyama, K. Nagakari, M. Suda, M. Sugano, G. Katsuno, Y. Ito, H. Tsumura,.

16th international Congress of the European Association for Endoscopic Surgery Stockholm Sweden 2008.6.11-14

12. EVALUATION OF LAPAROSCOPY-ASSISTED COLECTOMY FOR TRANSVERSE COLON CANCER COMPARED WITH OTHER SEGMENT COLON CANCER: Y. Hirasaki, M. Fukunaga, Y. Lee, K. Sugiyama, K. Nagakari, M. Sugano, Y. Iida, M. Suda,

S. Yoshikawa, G. Katsuno, Y. Ito, M. Ouchi, H. Tsumura.

16th international Congress of the European Association for Endoscopic Surgery
Stockholm Sweden 2008.6.11-14

13. A CASE OF ESOPHAGEAL CANCER WITH NONRECURRENT INFERIOR LARYNGEAL NERVE ASSOCIATED WITH ABERRANT RIGHT SUBCLAVIAN ARTERY, TREATED BY THORACOSCOPIC ESOPHAGECTOMY : Masahiko Sugano, Masaki Fukunaga, Gotaro Katsuno, Masakazu Ohuchi, Yoshitomo Ito, Seiichiro Yoshikawa, Masaru Suda, Yoshito Iida, Kunihiro Nagakari, Yoshihumi Ri, Kazuyoshi Sugiyama, Hidenori Tsumura.

The 11th World Congress of Endoscopic Surgery 9/3/08 Yokohama 2008

14. HOW TO AVOID NERVE INJURY IN LAPAROSCOPIC RECTAL SURGERY:

Masaki Fukunaga, Kunihiro Nagakari, Masahiko Sugano, Keibunn Li, Yoshitomo Ito, Gotaro Katsuno, Masakazu Ohuchi, Masaru Suda, Kazuyosi Sugiyama, Hidenori Tsumura.

The 11th World Congress of Endoscopic Surgery 9/08 Yokohama 2008

15. ANALYSIS OF GASTRIC GIST PATIENTS UNDERGOING LAPAROSCOPIC SURGERY IN OUR HOSPITAL : Masakazu Ohuchi, Masaki Fukunaga, Kazuyoshi Sugiyama, Masahiko Sugano, Yoshihumi Ri, Kunihiro Nagakari, Masaru Suda, Yoshito Iida, Seiichiro Yoshikawa, Yoshitomo Ito, Gotaro Katsuno, Norihisa Hirasaki, Hidenori Tsumura.

The 11th World Congress of Endoscopic Surgery 9/3/08 Yokohama 2008

16. COMPARISON OF VARIOUS ENDOSTAPLERS IN THE PORCINE INTESTINAL TRACT MODEL : Kunihiro Nagakari, Masaki Fukunaga, Hidenori Tsumura, Masahiko Sugano, Yoshihumi Lee, Masaru Suda, Yoshito Iida, Seiichiro Yoshikawa, Gotaro Katsuno, Masakazu Ohuchi, Yoshitomo Ito.

11th World Congress of Endoscopic Surgery 9/3/08 Yokohama 2008

17. THE INDICATION TO LAPAROSCOPY-ASSISTED COLECTOMY IN CIRCUMFATORY-RISK PATIENTS. Seiichiro Yoshikawa, Masaki Fukunaga, Kunihiro Nagakari, Masaru Suda, Masahiko Sugano, Gotaro Katsuno, Masakazu Ohuchi, Yoshitomo Ito.

The 11th World Congress of Endoscopic Surgery 9/3/08 Yokohama 2008

18. LAPAROSCOPIC VS OPEN COLON RESECTION FOR PERFORATED OR COMPLICATED DIVERTICULAR DISEASE(HINCHY STAGE I AND II) :

19. Gotaro Katsuno, Masaki Fukunaga, Kunihiro Nagakari, Masahiko Sugano, Masaru

Suda, Seiichiro Yoshikawa.

The 11th World Congress of Endoscopic Surgery 9/3/08 Yokohama 2008

20. LAPAROSCOPIC VS OPEN COLON RESECTION FOR PERFORATED OR COMPLICATED DIVERTICULAR DISEASE(HINCHY STAGE I AND II) :

Gotaro Katsuno, Masaki Fukunaga, Kunihiro Nagakari, Masahiko Sugano, Masaru Suda, Seiichiro Yoshikawa.

The 6th Endoscopic and Laparoscopic Surgeons of ASIA 2008 9/5/08 Yokohama 2008

21. COMPARISON OF TWO DIFFERENT ENERGY-BASED VASCULAR SEALING SYSTEMS FOR HEMOSTASIS OF VARIOUS TYPES OF ARTERIES IN A PORCINE MODEL-EVALUATION OF LIGASURE FORCETRIAD: Goutaro Katsuno, Masaki Fukunaga, Hidenori Tsumura, Kazuyoshi Sugiyama, Kunihiro Nagakari, Masahiko Sugano, Yoshifumi Lee, Shuichi Sakamoto, Masaru Suda, Yoshito Iida, Seiichirou Yoshikawa, Masakazu Ouchi, Yoshitomo Ito, Yoshinori Hirasaki Y, Kiichi Nagayasu.

The Society of American Gastrointestinal and Endoscopic Surgeons Annual Meeting, Arizona, USA, 2009.4.22-25

22. INCISIONLESS LAPAROSCOPIC SURGERY FOR COLORECTAL CANCER:

M. Fukunaga, K. Nagakari, M. Sugano, Y. Lee, Y. Iida, M. Suda, S. Yoshikawa, Y. Ito, G. Katsuno, K. Nagayasu, H. Tsumura.

17th International Congress Of the European Association for Endoscopic Surgery(EAES), Prague, Czech Republic 2009.6.17-20

23. THE INDICATION TO LAPAROSCOPY-ASSISTED COLECTOMY IN HIGH-RISK PATIENTS: S. Yoshikawa, M. Fukunaga, K. Sugiyama, K. Nagakari, Y. Lee, M. Sugano, Y. Iida, Y. Ito, G. Katsuno, M. Ohuchi, Y. Hirasaki, K. Nagayasu.

17th International Congress Of the European Association for Endoscopic Surgery(EAES), Prague Czech Republic, 2009.6.17-20

24. INCISIONLESS LAPAROSCOPIC SURGERY FOR COLORECTAL CANCER ~HYBRID NOTES TECHNIQUE APPLIED TO TRADITIONAL LAPAROSCOPIC COLORECTAL RESECTION : Goutaro Katsuno,

Masaki Fukunaga, Hidenori Tsumura, Kunihiro Nagakari, Masahiko Sugano, Yoshifumi Lee, Shuichi Sakamoto, Masaru Suda, Yoshito Iida, Seiichiro Yoshikawa,

12th World Congress of Endoscopic Surgery

The Society of American Gastrointestinal and Endoscopic Surgeons and Canadian Association of General Surgeons Maryland USA 2010.4.14-17

25. SINGLE PORT SURGURY FOR COLORECTAL CANCER :

M. Fukunaga , K. Nagakari, M. Sugano, Y. Lee, Y. Iida, S. Yoshikawa, G. Katsuno, Y. Ito, M.Ouchi, Y. Hirasaki, M. Suda.

18th International Congress Of the European Association for Endoscopic Surgery(EAES), Geneva Switzerland,2010.6.16-19

26. THE INDICATION TO EMERGENCY LAPAROSCOPIC SURGERY IN IATROGENIC COLON PERFORATIONS:

S. Yoshikawa, M. Fukunaga , K. Sugiyama, K. Nagakari, Y. Lee, M. Sugano, M. Suda ,Y. Iida, Y. Ito, M. Ohuchi, G. Katsuno, Y. Hirasaki, H.Tsumura.

18th International Congress Of the European Association for Endoscopic Surgery(EAES), Geneva Switzerland,2010.6.16-19

27. OUTCOMES OF TRANSABDOMINAL PREPERITONEAL PROSEDURES(TAPP) ON INGUINAL HERNIAS-A COMPARISON WITH THE KUGEL METHOD AND ANTERIOR APPROACH METHD- : M.Ouchi,

M. Fukunaga, K.Ngakari, M. Sugano, Y.Lee, Y. Iida, S. Yoshikawa, G. Katsuno, Y. Ito, N. Hirasaki.

21st International Congress of European Association for Endoscopic Surgery
Vienna 19-22 june 2013

28. EVALUATION OF THE LAPAROSCOPIC PALLIATIVE OPERATION:

S. Yoshikawa, M. Fukunaga, Y.Lee,K.Ngakari, M. Sugano, M. Suda, Y. Iida, M. Ouchi, Y. Ito, G. Katsuno.

21st International Congress of European Association for Endoscopic Surgery
Vienna 19-22 june 2013

29. SIGLE-INCISION LAPROSCOPIC APPENDECTOMY VS CONVENTIONAL LAPAROSCOPIC APPENDECTMY: Y. Hirasaki, M. Fukunaga, M. Sugano, Y.Lee, K.Ngakari, S. Yoshikawa, G. Katsuno. M. Ouchi, Y. Ito,

21st International Congress of European Association for Endoscopic Surgery
Vienna 19-22 june 2013

30. CURRENT STATUS OF LAPAROSCOPIC LATERAL PELVIC LYMPH NODE DISSECTION FOLLOWING TOTAL MESORECTAL EXCISION FOR ADVANCED LOW RECTAL CANCER: M.Ouchi, M. Fukunaga, M. Sugano, Y.Lee, Y. Iida, S. Yoshikawa, Y. Ito, G. Katsuno, Y. Hirasaki, K. Nagakari.

14st World Congress of European Association for Endoscopic Surgery
Paris France 25-28 june 2014

31. EVALUATION OF THE LAPROSCOPIC SURGERY FOR ONCOLOGIC EMERGENCIES: S. Yoshikawa, M. Fukunaga, Y. Lee, K. Nagakari, M. Sugano, M. Suda, Y. Iida, M. Ouchi, Y. Ito, G. Katsuno.
14th World Congress of European Association for Endoscopic Surgery
Paris France 25-28 June 2014

「学会発表」

1. 胃切除術後逆流性食道炎に対して外科治療が有効であった 1 例：菅野雅彦、松村理史、中村 啓、森本俊雄、秋本亮一、佐々木浩、桜井秀樹、中川敏行、津村秀憲、渡部洋三.
第 155 回静岡県外科医会集談会 平成 2 年 9 月 日 静岡 (1990)
2. びまん性浸潤型大腸癌の 2 例：松村理史、菅野雅彦、中村 啓、森本俊雄、佐々木浩、秋本亮一、桜井秀樹、中川敏行、津村秀憲、渡部洋三.
第 156 回静岡県外科医会集談会 平成 2 年 12 月 1 日 静岡 (1990)
3. 難治性膵液瘻に持続性ソマトスタチンアナログ製剤が有効であった 1 例：稲吉達矢、菅野雅彦、李 慶文、石黒 陽、森本俊雄、佐々木浩、秋本亮一、桜井秀樹、中川敏行、津村秀憲、渡部洋三.
第 158 回静岡県外科医会集談会 平成 3 年 6 月 18 日 静岡 (1991)
4. 外科治療により著明に改善した胃手術後逆流性食道炎の 2 例：菅野雅彦、松村理史、中村 啓、森本俊雄、秋本亮一、佐々木浩、桜井秀樹、中川敏行、津村秀憲、渡部洋三.
第 3 回胃術後障害研究会 平成 3 年 11 月 17 日 静岡 (1991)
5. Dieulafoy 潰瘍の 3 治療例：細田誠弥、菅野雅彦、倉澤恒雄、田中雅彦、岡原由明、森本俊雄、矢吹清隆、中川敏行、津村秀憲、渡部洋三.
第 161 回静岡県外科医会集談会 平成 4 年 3 月 7 日 静岡 (1992)
6. 胃切除術後逆流性食道炎に対して外科治療が有効であった 2 例：菅野雅彦、細田誠弥、倉澤恒雄、田中雅彦、岡原由明、森本俊雄、矢吹清隆、中川敏行、津村秀憲、渡部洋三.
第 46 回食道疾患研究会 平成 4 年 6 月 12 日 東京 (1992)
7. 義歯による小腸穿孔の 1 例：細田誠弥、菅野雅彦、倉澤恒雄、田中雅彦、岡原由明、森本俊雄、矢吹清隆、中川敏行、津村秀憲、渡部洋三.
第 162 回静岡県外科医会集談会 平成 4 年 6 月 13 日 静岡 (1992)
胃原発血管周皮腫の 1 例：菅野雅彦、小出 眞、西田匡伸、池上 泰、石原信浩、石黒 陽、中嶋研朗、宮沢龍一、駿河敬次郎、松本俊浩.

第 746 回外科集談会 平成 4 年 9 月 19 日 静岡 (1992)

8. 血管周皮腫の 1 例：菅野雅彦、小出 眞、西田匡伸、池上 泰、石原信浩、石黒 陽、中嶋研朗、宮沢龍一、駿河敬次郎.

第 4 回東葛地域消化器疾患研究会 平成 4 年 10 月 17 日 千葉 (1992)

9. 免疫能からみた手術侵襲についての検討：渡邊英章、西村和彦、岡原仁志、岩沼佳見、朝蔭直樹、東山明憲、日野眞子、菅野雅彦.

第 6 回順天堂大学第一外科臨床研究会 平成 5 年 4 月 24 日 東京 (1993)

10. 手術侵襲の腫瘍肺転移促進に関する基礎的検討：東山明憲、菅野雅彦、岩沼佳見、岡原仁志、渡邊英章.

第 2 回がん転移研究会 平成 5 年 5 月 28 日 札幌 (1993)

11. 手術後の免疫能の変動からみた腫瘍の転移に関する検討：渡邊英章、西村和彦、東山明憲、日野眞子、菅野雅彦、榊原 宣.

第 31 回日本癌治療学会総会 平成 5 年 10 月 27 日 大阪 (1993)

12. 手術侵襲の肺転移促進に関する基礎的実験：東山明憲、渡邊英章、菅野雅彦、日野眞子、卜部元道、榊原 宣.

第 62 回胃癌研究会 平成 6 年 1 月 21 日 大阪 (1994)

異所性褐色細胞腫の 1 例：野崎 浩、菅野雅彦、百瀬隆二、宮城伸二、酒井雅司、和田 了.

第 7 回順天堂大学第一外科臨床研究会 平成 6 年 4 月 16 日 東京 (1994)

13. 開腹手術侵襲の転移促進に関する基礎的研究：東山明憲、渡邊英章、日野眞子、菅野雅彦、榊原 宣.

第 44 回日本消化器外科学会総会 平成 6 年 7 月 22 日 富山 (1994)

14. 術後の免疫能低下に対して術前 BRM 投与は有効か：渡邊英章、西村和彦、東山明憲、日野眞子、菅野雅彦、榊原 宣.

第 32 回日本癌治療学会総会 平成 6 年 10 月 7 日 岡山 (1994)

15. 開腹手術侵襲の転移促進に関する基礎的実験：東山明憲、渡邊英章、日野眞子、菅野雅彦、榊原 宣.

第 95 回日本外科学会総会 平成 7 年 4 月 11 日 名古屋 (1995)

16. クロウン病の難治性痔瘻に対しクシャラ・スートラ変法を試みた 1 例：菅野雅彦、和田 玄、土谷昇二、山崎忠光.

第 8 回順天堂大学第一外科臨床研究会 平成 7 年 4 月 15 日 東京 (1995)

17. 手術侵襲の転移に及ぼす影響とその予防：菅野雅彦、渡邊英章、東山明憲、日野眞子、岡原仁志、榊原 宣.

第 16 回癌免疫外科研究会 平成 7 年 5 月 25 日 富山 (1995)

18. 手術侵襲の転移に及ぼす影響と術前 BRM 投与の有効性について：渡邊英章、岡原仁志、西村和彦、菅野雅彦、鳴海賢二、榊原 宣.

第 33 回日本癌治療学会総会 平成 7 年 9 月 22 日 京都 (1995)

19. 手術侵襲の転移に及ぼす影響と術前 BRM 投与についての基礎的検討：菅野雅彦、渡邊英章、高田 丈、東山明憲、岡原仁志、榊原 宣.

第 54 回日本癌学会総会 平成 7 年 10 月 5 日 京都 (1995)

20. 保存的に治癒した食道憩室穿孔による縦隔炎の 1 例：内田陽介、菅野雅彦、塩崎哲三、尾崎 裕.

第 9 回順天堂大学第一外科臨床研究会 平成 8 年 4 月 20 日 東京 (1996)

21. 開腹手術侵襲の免疫学的影響と術前 BRM 経口投与の効果：菅野雅彦、渡邊英章、高田 丈、東山明憲、岡原仁志、榊原 宣.

第 47 回日本消化器外科学会総会 平成 8 年 2 月 23 日 大阪 (1996)

22. 脾原発悪性リンパ腫の 1 例：三枝奈芳紀、三枝一雄、布施正夫、小田健司、塩崎哲三、菅野雅彦.

第 48 回日本消化器外科学会総会 平成 8 年 7 月 18 日 東京 (1996)

23. IL-2 および IL-12 遺伝子導入腫瘍による抗腫瘍効果の検討：高田 丈、渡邊英章、岡原仁志、菅野雅彦、岩沼佳見、榊原 宣.

第 97 回日本外科学会総会 平成 9 年 4 月 9 日 京都 (1997)

24. ヒト癌細胞/SCID マウス xenograft モデルを用いた in vivo 遺伝子導入効率の検討：岩沼佳見、菅野雅彦、日野眞子、鳴海賢二、西村和彦、渡邊英章.

第 98 回日本外科学会総会 平成 10 年 4 月 8 日 東京 (1998)

25. 術前ホルモン療法が有用であった腸管子宮内膜症の 1 例：佐藤真輔、内田陽介、酒井康孝、前川 博、菅野雅彦、坂本修一、富木裕一、溝渕 昇、鎌野俊紀、鶴丸昌彦.

第 774 回外科集談会 平成 11 年 9 月 25 日 東京 (1999)

26. Epstein-Barr Virus-Associated Lymphoma における Dendritic Cell 免疫療法の検討：菅野雅彦、細田誠弥、岩沼佳見、鳴海賢二、Richard B Bankert、鎌野俊紀、鶴丸昌彦.

第 37 回日本癌治療学会総会 平成 11 年 10 月 12 日 岐阜 (1999)

27. Tumor Lysate Pulsed Dendritic Cell による癌ワクチン療法の基礎的検討：
菅野雅彦、内田陽介、酒井康孝、日野眞子、岩沼佳見、鳴海賢二、梶山美明、
Richard B Bankert、鎌野俊紀、鶴丸昌彦.

第 100 回日本外科学会総会 平成 12 年 4 月 14 日 東京 (2000)

28. Mature Dendritic Cell を用いた癌ワクチン療法の基礎的検討：菅野雅彦、
内田陽介、酒井康孝、岩沼佳見、鳴海賢二、梶山美明、Richard B Bankert、
鎌野俊紀、鶴丸昌彦.

第 21 回癌免疫外科研究会 平成 12 年 5 月 25 日 和歌山 (2000)

29. Posttransplantation Lymphoma における Dendritic Cell 免疫療法の検討：
菅野雅彦、佐藤真輔、酒井康孝、岩沼佳見、鳴海賢二、梶山美明、
Richard B Bankert、鎌野俊紀、鶴丸昌彦.

第 55 回日本消化器外科学会総会 平成 12 年 7 月 20 日 宮崎 (2000)

30. 食道気管支瘻に対し内視鏡的治療が有効であった 1 例：菅野雅彦、櫛田知志、
根上直樹、安藤隆夫、武川 悟、富田夏実、関 英一郎、梶山美明、林田康男、
鎌野俊紀、鶴丸昌彦.

第 71 回日本消化器内視鏡学会関東地方会 平成 12 年 12 月 2 日 千葉 (2000)

31. Immunoliposomes を用いた肺癌の Targeting 療法の検討：菅野雅彦、城田 繁、
酒井康孝、岩沼佳見、鳴海賢二、梶山美明、Richard B Bankert、鎌野俊紀、
鶴丸昌彦.

第 101 回日本外科学会総会 平成 13 年 4 月 13 日 仙台 (2001)

32. Biomerker を transfection した Xenograft モデルにおける腫瘍増殖のモニタリングの
試み：菅野雅彦、佐藤真輔、城田 繁、酒井康孝、岩沼佳見、鳴海賢二、梶山美明、Thomas
F.Conway、Richard B Bankert、鎌野俊紀、鶴丸昌彦.

33. 第 22 回癌免疫外科研究会 平成 13 年 5 月 18 日 宇部 (2001)

食道癌における血清 P53 抗体陽性率の検討：酒井康孝、梶山美明、内田陽介、
菅野雅彦、岩沼佳見、鳴海賢二、坂本一博、鎌野俊紀、鶴丸昌彦.

第 26 回日本外科系連合学会学術総会 平成 13 年 6 月 28 日 東京 (2001)

34. 超高齢者に対する腹腔鏡下胆嚢摘出術の検討：坂本一博、松田光弘、北島政幸、
菅野雅彦、日野眞子、李 慶文、富木裕一、岩沼佳見、小林 滋、林田康男、
鎌野俊紀、鶴丸昌彦.

第 26 回日本外科系連合学会学術総会 平成 13 年 6 月 28 日 東京 (2001)

35. 食道癌に対する Cyclin dependent kinase (CDK)阻害剤 Flavopiridol の基礎的検討：
佐藤真輔、梶山美明、菅野雅彦、岩沼佳見、鳴海賢二、鎌野俊紀、鶴丸昌彦。
第 56 回日本消化器外科学会総会 平成 13 年 7 月 25 日 秋田 (2001)
36. 腹腔内出血をきたした脾臓原発血管肉腫の 1 例：塚田健次、高橋 玄、櫛田知志、
高山敏夫、北島政幸、伊藤由裕、安藤隆夫、諫山冬実、武川 悟、菅野雅彦、
梶山美明、鎌野俊紀、鶴丸昌彦。
第 56 回日本消化器外科学会総会 平成 13 年 7 月 27 日 秋田 (2001)
37. Low dose FAP を用いた肝動注化学療法が著効した胃癌肝転移の 1 例：高山敏夫、
塚田健次、高橋 玄、櫛田知志、安藤隆夫、諫山冬実、菅野雅彦、小林 滋、
林田康男、鎌野俊紀、鶴丸昌彦。
第 63 回日本臨床外科学会総会 平成 13 年 10 月 12 日 横浜 (2001)
38. 肺癌に対する Immunoliposomes を用いたミサイル療法の検討：菅野雅彦、城田 繁、
酒井康孝、岩沼佳見、鳴海賢二、梶山美明、Richard B Bankert、鎌野俊紀、
鶴丸昌彦。
第 39 回日本癌治療学会総会 平成 13 年 11 月 8 日 広島 (2001)
39. 食道癌術前患者の MR Lymphography による非侵襲性胸管描出法の検討：岩沼佳見、
鳴海賢二、菅野雅彦、坂本一博、梶山美明、鎌野俊紀、鶴丸昌彦。
第 102 回日本外科学会総会 平成 14 年 4 月 11 日 京都 (2002)
40. 巨大副腎嚢腫の 1 例：橋本貴史、山口浩彦、五藤倫敏、伊藤由裕、仙石信博、
松田光弘、菅野雅彦、坂本一博、鎌野俊紀、鶴丸昌彦。
第 785 回外科集談会 平成 14 年 4 月 11 日 大宮 (2002)
41. 食道癌に対する Cyclin Dependent Kinase 阻害剤を用いた Molecular Intervention の
可能性：佐藤真輔、梶山美明、菅野雅彦、岩沼佳見、鳴海賢二、鎌野俊紀、
鶴丸昌彦。
第 57 回日本消化器外科学会総会 平成 14 年 7 月 28 日 京都 (2002)
42. 大腸癌遠隔転移における HGFreceptor/c-met の発現：松田光弘、橋本貴志、
塚田健次、菅野雅彦、李 慶文、富木裕一、坂本一博、梶山美明、鎌野俊紀
鶴丸昌彦。
第 57 回日本消化器外科学会総会 平成 14 年 7 月 29 日 京都 (2002)
43. 大腸癌に対する腹腔鏡下手術の手術成績と遠隔転移成績について：坂本一博、
北島政幸、須田寸実人、五藤倫敏、奥澤淳司、渡部 英、松田光弘、河井 健、
石引佳郎、細田誠弥、菅野雅彦、富木裕一、鎌野俊紀、鶴丸昌彦。

第 103 回日本外科学会総会 平成 15 年 6 月 4 日 札幌 (2003)

44. 大腸癌術前後における血清エンドスタチンの検討：岡田 豪、須田寸実人、仙石博信、河井 健、渡部智雄、石引佳郎、細田誠弥、菅野雅彦、富木裕一、鎌野俊紀、鶴丸昌彦.

第 103 回日本外科学会総会 平成 15 年 6 月 4 日 札幌 (2003)

45. 食道癌培養細胞における Her2/neu 過剰発現と放射線感受性の検討：佐藤真輔、梶山美明、菅野雅彦、岩沼佳見、鶴丸昌彦、園上浩司、松本俊治、笹井啓資.

第 57 回日本食道学会学術集会 平成 15 年 6 月 27 日 京都 (2003)

46. 食道癌細胞に対する抗 Her2 モノクローナル抗体 Trastuzumab・放射線併用療法の検討：佐藤真輔、梶山美明、菅野雅彦、岩沼佳見、鶴丸昌彦、園上浩司、松本俊治、笹井啓資.

第 58 回日本消化器外科学会総会 平成 15 年 7 月 16 日 東京 (2003)

47. 下部白線ヘルニアの 1 例：菅野雅彦、鶴岡優子、須田寸実人、山口浩彦、安藤隆夫、奥澤淳司、天野高行、松田光弘、細田誠弥、鶴丸昌彦.

第 58 回日本消化器外科学会総会 平成 15 年 7 月 17 日 東京 (2003)

48. GIST 表面粘膜に発生した若年者胃癌の 1 例：橋口忠典、鵜瀬 条、那須元美、橋本貴史、工藤圭三、富田夏実、菅野雅彦、梶山美明、鎌野俊紀、鶴丸昌彦.

第 58 回日本消化器外科学会総会 平成 15 年 7 月 17 日 東京 (2003)

49. 大腸癌のスクリーニングとして便中胆汁酸の解析：大内昌和、野中英臣、石戸保典、高橋 玄、柳沼行宏、田中真伸、河井 健、奥澤淳司、松田光弘、菅野雅彦、細田誠弥、狩野元成、鎌野俊紀.

第 58 回日本癌学会総会 平成 15 年 9 月 27 日 名古屋 (2003)

50. 腹腔鏡下大腸切除後ドレーン挿入部ポート孔に発生した Richter's hernia の 1 例：菅野雅彦、橋口忠典、山田正樹、橋本貴史、五藤倫敏、奥澤淳司、松田光弘、坂本一博、鎌野俊紀、鶴丸昌彦.

第 66 回日本消化器内視鏡学会総会 平成 15 年 10 月 18 日 大阪 (2003)

51. 切除不能大腸悪性狭窄に対するステント留置術と人工肛門造設術の比較：富木裕一、渡部智雄、坂本修一、石引佳郎、須田寸実人、田中真伸、北島政幸、五藤倫敏、櫻田 睦、山口浩彦、笠巻伸二、細田誠弥、菅野雅彦、坂本一博、鎌野俊紀.

第 66 回日本消化器内視鏡学会総会 平成 15 年 10 月 18 日 大阪 (2003)

52. 大腸癌での 5-FU 代謝関連酵素とアポトーシスインデックスの検討：河井 健、

渡部 英、渡部智雄、笠巻伸二、仙石博信、奥澤淳司、松田光弘、石引佳郎、
細田誠弥、菅野雅彦、坂本修一、坂本一博、鎌野俊紀.

第 41 回日本癌治療学会総会 平成 15 年 10 月 22 日 札幌 (2003)

53. 食道扁平上皮癌に対する Cyclin dependent kinase 阻害剤 flavopiridol の xenograft
SCID マウスモデルを用いた検討：佐藤真輔、梶山美明、橋本貴史、菅野雅彦、
岩沼佳見、園上浩司、松本俊治、鶴丸昌彦.

第 41 回日本癌治療学会総会 平成 15 年 10 月 22 日 札幌 (2003)

54. 開腹脾摘術後の上行結腸癌に対する腹腔鏡下大腸切除術：坂本一博、泰 正輝、
湊 あこ、山本哲朗、瀧田尚仁、山口浩彦、北島政幸、奥澤淳司、渡部 英、
松田光弘、渡部智雄、菅野雅彦、富木裕一、鎌野俊紀.

第 65 回日本臨床外科学会総会 平成 15 年 11 月 13 日 福岡 (2003)

55. 直腸癌に対する腹腔鏡下手術の検討：坂本一博、山本哲朗、瀧田尚仁、山口浩彦、
北島政幸、笠巻伸二、奥澤淳司、渡部 英、松田光弘、細田誠弥、石引佳郎、
菅野雅彦、坂本修一、富木裕一、鎌野俊紀.

第 16 回日本内視鏡外科学会総会 平成 15 年 12 月 5 日 横浜 (2003)

56. 膝虚血再灌流障害における MMPinhibitor の効果について：五藤倫敏、北島政幸、奥
澤淳司、渡部 英、松田光弘、菅野雅彦、坂本一博、鎌野俊紀.

第 40 回日本腹部救急学会総会 平成 16 年 3 月 19 日 東京 (2004)

57. 1,2-dimethylhydrazine dihydrochloride(DMH)誘導ラット大腸腫瘍における Hericium
erinaceum(He)の抑制効果：田中真伸、小島 豊、前多 力、木原 晃、山本哲朗、寺井
潔、須田 寸実人、五藤倫敏、笠巻伸二、細田誠弥、菅野雅彦、
富木裕一、坂本一博、鎌野俊紀、狩野元成.

第 104 回日本外科学会総会 平成 16 年 4 月 7 日 大阪 (2004)

58. Hormone Replacement Therapy 施行乳癌の臨床病理学的検討：山口浩彦、笠巻伸二、
奥澤淳司、渡部 英、河井 健、松田光弘、細田誠弥、菅野雅彦、坂本一博、
鎌野俊紀.

第 104 回日本外科学会総会 平成 16 年 4 月 8 日 大阪 (2004)

59. 当科における直腸癌に対する腹腔鏡下手術の治療成績：菅野雅彦、武田良平、
木原 晃、山本哲朗、寺井 潔、田中真伸、奥澤淳司、笠巻伸二、河井 健、
渡部智雄、富木裕一、坂本一博、鎌野俊紀.

第 29 回日本外科系連合学会学術総会 平成 16 年 7 月 2 日 東京 (2004)

60. 大腸癌に対する腹腔鏡下手術の血管処理方法についての検討：坂本一博、池田 廉、

湊 あこ、北島政幸、山口浩彦、山本哲朗、瀧田尚仁、渡部 英、奥澤淳司、松田光弘、石引佳郎、細田誠弥、菅野雅彦、富木裕一、鎌野俊紀.

第 29 回日本外科系連合学会学術総会 平成 16 年 7 月 3 日 東京 (2004)

61. 異時性肺転移を来した大腸癌における flk-1 の発現：松田光弘、木原 晃、瀧田尚仁、北島政幸、渡部 英、河井 健、菅野雅彦、坂本一博、中村真二、鎌野俊紀.

第 59 回日本消化器外科学会総会 平成 16 年 7 月 23 日 鹿児島 (2004)

62. 完全内臓逆位症に合併した穿孔性腹膜炎をきたした小腸悪性リンパ腫の 1 例：

菅野雅彦、高橋 玄、塚田健次、細田誠弥、富木裕一、坂本一博、鎌野俊紀.

第 59 回日本消化器外科学会総会 平成 16 年 7 月 23 日 鹿児島 (2004)

63. 腫瘍径 15mm で発見された大腸腺扁平上皮癌の 1 例：山本哲朗、湊 あこ、柳沼行宏、石戸保典、武田良平、渡部 英、菅野雅彦、富木裕一、坂本一博、鎌野俊紀.

第 59 回日本消化器外科学会総会 平成 16 年 7 月 23 日 鹿児島 (2004)

64. S 状結腸癌・直腸癌に対する腹腔鏡下大腸手術(LAC)の術中合併症およびその対処法の検討：奥澤淳司、坂本一博、木原 晃、北島政幸、笠巻伸二、國井康弘、菅野雅彦、鎌野俊紀.

第 59 回日本消化器外科学会総会 平成 16 年 7 月 23 日 鹿児島 (2004)

65. 受傷 3 日後になって free air が出現した外傷性上行結腸穿孔の 1 例：野中英臣、神山博彦、大内昌和、高橋 玄、柳沼行宏、田中真伸、山口浩彦、渡部智雄、菅野雅彦、坂本一博、鎌野俊紀.

第 66 回日本臨床外科学会総会 平成 16 年 10 月 15 日 岩手 (2004)

66. 5-FU 代謝能の簡便な試験方法の模索：渡部 英、瀧田尚仁、北島政幸、櫻田 睦、仙石博信、奥澤淳司、河井 健、松田光弘、細田誠弥、菅野雅彦、坂本修一、坂本一博、鎌野俊紀.

第 29 回日本癌治療学会総会 平成 16 年 10 月 27 日 京都 (2004)

67. 潰瘍性大腸炎術後 42 年目に発症した横行結腸人工肛門癌の 1 例：山口浩彦、渡部 英、渡部智雄、大内昌和、北島政幸、河井 健、松田光弘、菅野雅彦、坂本一博、鎌野俊紀.

第 59 回日本大腸肛門病学会総会 平成 16 年 11 月 6 日 福岡 (2004)

68. LigaSureAtlass TM を用いた腹腔鏡下大腸切除の検討：柳沼行宏、杉本起一、石山 隼、木原 晃、神山博彦、大内昌和、小島 豊、北島政幸、須田寸実人、田中真伸、渡部 英、菅野雅彦、鎌野俊紀.

第 17 回日本内視鏡外科学会総会 平成 16 年 11 月 26 日 横浜 (2004)

69. 術前化学放射線併用療法が奏効した肛門管扁平上皮癌の 1 例：森 貴之、杉本起一、野中英臣、木原 晃、瀧田尚仁、笠巻伸二、奥澤淳司、渡部智雄、菅野雅彦、坂本一博、鎌野俊紀.

第 283 回日本消化器病学会関東地方会 平成 17 年 2 月 19 日 東京 (2005)

70. 胃転移を来した両側副腎癌の 1 例：杉本起一、森 貴之、野中英臣、柳沼行宏、木原 晃、瀧田尚仁、山口浩彦、笠巻伸二、奥澤淳司、渡部智雄、菅野雅彦、坂本一博、鎌野俊紀.

第 283 回日本消化器病学会関東地方会 平成 17 年 2 月 19 日 東京 (2005)

71. 児頭吸引器で摘出した直腸内異物の 1 例：小島 豊、鎌野俊紀、坂本一博、冨木裕一、菅野雅彦、渡部智雄、奥澤淳司、笠巻伸二、寺井 潔、瀧田尚仁.

第 41 回日本腹部救急学会総会 平成 17 年 3 月 10 日 名古屋 (2005)

72. 大腸癌における Micrometastasis の検出とその臨床的意義：新村光司、坂本一博、冨木裕一、菅野雅彦、笠巻伸二、奥澤淳司、山本哲朗、寺井 潔、瀧田尚仁、長岡 功、石井(堤)裕子.

第 105 回日本外科学会総会 平成 17 年 5 月 11 日 名古屋 (2005)

73. 肥満度 (BMI) からみた大腸癌に対する腹腔鏡下大腸切除術の適応について：坂本一博、神山博彦、野中英臣、高橋 玄、柳沼行宏、北島政幸、須田寸実人、笠巻伸二、奥澤淳司、菅野雅彦、鎌野俊紀.

第 105 回日本外科学会総会 平成 17 年 5 月 11 日 名古屋 (2005)

74. 糖尿病が 1,2-dimethylhydrazine dihydrochloride(DMH)誘導ラット大腸癌に及ぼす実験的検討：寺井 潔、田中真伸、山本哲朗、前多 力、高橋 玄、柳沼行宏、渡部 英、石引佳郎、菅野雅彦、鎌野俊紀.

第 60 回日本消化器外科学会総会 平成 17 年 7 月 22 日 東京 (2005)

75. 大腸癌患者における分子生物学的手法による血行性転移の予測：新村光司、鎌野俊紀、坂本一博、冨木裕一、菅野雅彦、笠巻伸二、奥澤淳司、瀧田尚仁、寺井 潔、山本哲朗.

第 60 回日本消化器外科学会総会 平成 17 年 7 月 22 日 東京 (2005)

76. 腹腔鏡下大腸切除における術中合併症の予測因子と outcome について：坂本一博、高橋 玄、野中英臣、北島政幸、奥澤淳司、渡部 英、松田光弘、菅野雅彦、冨木裕一、鎌野俊紀.

第 60 回日本消化器外科学会総会 平成 17 年 7 月 22 日 東京 (2005)

77. 大腸癌組織における Methylenetetrahydrofolate Reductase(MTHFR)C677T polymorphism と synthase(TS)mRNA 発現量との関係：

武田良平、小島 豊、前多 力、渡部智雄、細田誠弥、菅野雅彦、富木裕一、鎌野俊紀.

第 43 回日本癌治療学会総会 平成 17 年 10 月 27 日 東京 (2005)

78. 早期胃癌に対する腹腔鏡補助下大腸癌胃切除術の検討：吉川征一郎、木所昭夫、福永正氣、津村秀憲、射場敏明、菅野雅彦、杉山和義、永仮邦彦、坂本修一、須田 健.

第 67 回日本臨床外科学会総会 平成 17 年 11 月 11 日 東京 (2005)

79. 胸・腹腔鏡補助下食道癌根治術中に発生した術中心停止の経験：勝野剛太郎、木所昭夫、津村秀憲、福永正氣、射場敏明、杉山和義、菅野雅彦、永仮邦彦、坂本修一、飯田義人、吉川征一郎、須田 健、伊藤嘉智、大内昌和、井田夕紀子、杉本起一.

第 11 回千葉胸・腹腔鏡下手術研究会 平成 18 年 1 月 28 日 千葉 (2006)

80. 当科における腹腔鏡下前方切除：永仮邦彦、木所昭夫、福永正氣、津村秀憲、射場敏明、杉山和義、菅野雅彦、坂本修一、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、大内昌和、伊藤嘉智、勝野剛太郎、井田夕紀子、杉本起一.

第 11 回千葉胸・腹腔鏡下手術研究会 平成 18 年 1 月 28 日 千葉 (2006)

81. 当科における腹腔鏡補助下幽門側胃切除術：吉川征一郎、木所昭夫、福永正氣、津村秀憲、射場敏明、杉山和義、菅野雅彦、永仮邦彦、坂本修一、飯田義人、須田 健、伊藤嘉智、勝野剛太郎、大内昌和、井田夕紀子、杉本起一.

第 11 回千葉胸・腹腔鏡下手術研究会 平成 18 年 1 月 28 日 千葉 (2006)

82. 腹腔鏡下手術の右側結腸癌 D3 郭清に対する 3D-CT の有用性：永仮邦彦、木所昭夫、津村秀憲、福永正氣、射場敏明、杉山和義、菅野雅彦、坂本修一、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、大内昌和、勝野剛太郎、井田夕紀子、杉本起一、伊藤嘉智、.

第 106 回日本外科学会総会 平成 18 年 3 月 29 日 東京 (2006)

83. 胸腹腔鏡補助下食道癌根治術中に発生した術中心停止の経験：勝野剛太郎、福永正氣、津村秀憲、射場敏明、杉山和義、菅野雅彦、永仮邦彦、坂本修一、飯田義人、須田 健、吉川征一郎、伊藤嘉智、大内昌和、井田夕紀子、杉本起一.

第 4 回湾岸外科フォーラム 平成 18 年 4 月 東京 (2006)

84. 乳管内視鏡による乳管内乳頭腫の診断と治療：須田 健、福永正氣、津村秀憲、射場敏明、杉山和義、菅野雅彦、永仮邦彦、坂本修一、飯田義人、吉川征一郎、大内昌和、伊藤嘉智、勝野剛太郎、平崎憲範、木所昭夫.

第 8 回お茶の水乳腺研究会 平成 18 年 5 月 東京 (2006)

85. 診断が困難であった高分化肝細胞癌の1例：杉本起一、勝野剛太郎、伊藤嘉智、大内昌和、吉川征一郎、飯田義人、須田 健、永仮邦彦、菅野雅彦、坂本修一、杉山和義、射場敏明、福永正氣、津村秀憲、木所昭夫.

第31回東葛地域消化器疾患研究会 平成18年6月3日 千葉 (2006)

86. 乳管内視鏡による乳管内乳頭腫の治療：須田 健、木所昭夫、福永正氣、津村秀憲、射場敏明、杉山和義、菅野雅彦、永仮邦彦、坂本修一、飯田義人、吉川征一郎、大内昌和、伊藤嘉智、勝野剛太郎、平崎憲範.

第34回千葉乳腺疾患研究会 平成18年6月 千葉 (2006)

87. 肝膿瘍を伴った混合性肝癌の一例：飯田義人、平崎憲範、芹沢隆宏、伊藤嘉智、大内昌和、吉川征一郎、須田 健、坂本修一、永仮邦彦、菅野雅彦、杉山和義、射場敏明、福永正氣、津村秀憲、木所昭夫.

肝胆膵外科学会 東京 2006.6

88. 原発乳癌における血清抗 p53 抗体測定 of 臨床的意義：杉山和義、木所昭夫、津村秀憲、福永正氣、射場敏明、菅野雅彦、坂本修一、永仮邦彦、須田 健.

第14回日本乳癌学会総会 平成18年7月7日 金沢 (2006)

89. センチネルリンパ節生検でのリンパ行性転移陽性例の検討：須田 健、木所昭夫、津村秀憲、福永正氣、射場敏明、杉山和義、菅野雅彦、永仮邦彦、坂本修一、吉川征一郎.

第14回日本乳癌学会総会 平成18年7月7日 金沢 (2006)

90. 腹部鈍的外傷後小腸穿孔・腸間膜損傷による出血に対し腹腔鏡アプローチが有用であった2例：勝野剛太郎、木所昭夫、津村秀憲、福永正氣、射場敏明、杉山和義、菅野雅彦、永仮邦彦、坂本修一、吉川征一郎.

第61回日本消化器外科学会総会 平成18年7月14日 横浜 (2006)

91. 腹腔鏡補助下幽門側胃切除の評価：吉川征一郎、木所昭夫、津村秀憲、福永正氣、射場敏明、杉山和義、菅野雅彦、永仮邦彦、伊藤嘉智.

第61回日本消化器外科学会総会 平成18年7月14日 横浜 (2006)

92. 直腸癌に対する腹腔鏡下手術——本道となりうるか——：福永正氣、木所昭夫、射場敏明、杉山和義、永仮邦彦、飯田義人、須田 健、津村秀憲、菅野雅彦、坂本修一.

第61回日本消化器外科学会総会 平成18年7月15日 横浜 (2006)

93. AC→Weekly paclitaxel による術前化学療法にて pCR を得た T4 乳癌の1例：平崎憲範、福永正氣、津村秀憲、杉山和義、菅野雅彦、永仮邦彦、坂本修一、

飯田義人、須田 健、吉川征一郎、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、木所昭夫.
第 35 回千葉乳腺疾患研究会 平成 18 年 11 月 千葉 (2006)

94. 右胃大網動脈を使用した冠動脈バイパス術後の臍頭十二指腸切除術の 1 例：伊藤嘉智、津村秀憲、福永正氣、射場敏明、杉山和義、永仮邦彦、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、大内昌和、勝野剛太郎、芹沢隆宏、森 貴之、木所昭夫.
第 68 回日本臨床外科学会総会 平成 18 年 11 月 9 日 広島 (2006)

95. 腸重積を発症した巨大横行結腸脂肪腫の 1 例：杉本起一、吉川征一郎、勝野剛太郎、伊藤嘉智、大内昌和、須田 健、飯田義人、永仮邦彦、菅野雅彦、坂本修一、杉山和義、射場敏明、福永正氣、津村秀憲、木所昭夫.
第 68 回日本臨床外科学会総会 平成 18 年 11 月 9 日 広島 (2006)

96. 乳房神経鞘腫の 1 例：杉山和義、木所昭夫、津村秀憲、福永正氣、射場敏明、菅野雅彦、永仮邦彦、坂本修一、須田 健、吉川征一郎.
第 68 回日本臨床外科学会総会 平成 18 年 11 月 9 日 広島 (2006)

97. 腹腔鏡手術のより安全な器械吻合：永仮邦彦、福永正氣、津村秀憲、射場敏明、菅野雅彦、飯田義人、須田 健、吉川征一郎、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、木所昭夫.
第 68 回日本臨床外科学会総会 平成 18 年 11 月 9 日 広島 (2006)

98. 腹腔鏡下大腸切除術の定型化におけるスコーピストと助手の役割：吉川征一郎、福永正氣、津村秀憲、射場敏明、杉山和義、菅野雅彦、永仮邦彦、須田 健、坂本修一.
第 68 回日本臨床外科学会総会 平成 18 年 11 月 10 日 広島 (2006)

99. 乳管内乳頭腫に対する乳管内内視鏡下切除の有用性の検討：須田 健、木所昭夫、津村秀憲、福永正氣、射場敏明、杉山和義、菅野雅彦、永仮邦彦、坂本修一、飯田義人、吉川征一郎、大内昌和、伊藤嘉智、勝野剛太郎、平崎憲範.
第 68 回日本臨床外科学会総会 平成 18 年 11 月 10 日 広島 (2006)

100. 乳腺 MALT リンパ腫の 1 例：勝野剛太郎、福永正氣、津村秀憲、射場敏明、杉山和義、永仮邦彦、菅野雅彦、坂本修一、吉川征一郎、伊藤嘉智、大内昌和、木所昭夫.
第 68 回日本臨床外科学会総会 平成 18 年 11 月 10 日 広島 (2006)

101. 腹腔鏡下手術が有用であった小腸穿孔の 3 例：勝野剛太郎、福永正氣、津村秀憲、射場敏明、杉山和義、永仮邦彦、菅野雅彦、坂本修一、吉川征一郎、伊藤嘉智、大内昌和、木所昭夫.

第 68 回日本臨床外科学会総会 平成 18 年 11 月 11 日 広島 (2006)

102. 直腸癌に対する腹腔鏡手術の成績と問題点：福永正氣、津村秀憲、射場敏明、永仮邦彦、菅野雅彦、飯田義人、須田 健、吉川征一郎、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、木所昭夫.

第 68 回日本臨床外科学会総会 平成 18 年 11 月 11 日 広島 (2006)

103. 胆管嚢胞腺腫と鑑別が困難であった腎細胞癌肝転移の 1 例：、飯田義人、木所昭夫、福永正氣、津村秀憲、杉山和義、永仮邦彦、菅野雅彦、坂本修一、須田 健、吉川征一郎、大内昌和、伊藤嘉智、勝野剛太郎.

第 32 回東葛地域消化器疾患研究会 平成 18 年 11 月 18 日 千葉 (2006)

104. 腹腔鏡下大腸切除術における助手の役割：永仮邦彦、福永正氣、津村秀憲、射場敏明、杉山和義、菅野雅彦、須田 健、吉川征一郎、坂本修一、伊藤嘉智、勝野剛太郎.

第 19 回日本内視鏡外科学会総会 平成 18 年 12 月 5 日 大阪 (2006)

105. スコーピストから見た腹腔鏡下左側大腸切除術：吉川征一郎、福永正氣、津村秀憲、射場敏明、杉山和義、永仮邦彦、須田 健、菅野雅彦.

第 19 回日本内視鏡外科学会総会 平成 18 年 12 月 5 日 大阪 (2006)

106. 直腸癌に対する安全な腹腔鏡手術を目指して：福永正氣、津村秀憲、射場敏明、永仮邦彦、菅野雅彦、飯田義人、須田 健、吉川征一郎、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、木所昭夫.

第 19 回日本内視鏡外科学会総会 平成 18 年 12 月 6 日 大阪 (2006)

107. 腹腔鏡下にて診断・治療が可能であった腹膜妊娠の 1 例：勝野剛太郎、福永正氣、津村秀憲、射場敏明、杉山和義、永仮邦彦、須田 健、菅野雅彦、吉川征一郎、吉田幸洋.

第 19 回日本内視鏡外科学会総会 平成 18 年 12 月 6 日 大阪 (2006)

108. 外科領域における腹腔鏡下後腹膜リンパ節郭清：福永正氣、津村秀憲、射場敏明、永仮邦彦、菅野雅彦、飯田義人、須田 健、吉川征一郎、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、木所昭夫.

第 19 回日本内視鏡外科学会総会 平成 18 年 12 月 6 日 大阪 (2006)

109. 術後癒着性イレウスに対する腹腔鏡下イレウス解除術の有用性の検討：伊藤嘉智、福永正氣、津村秀憲、射場敏明、菅野雅彦、永仮邦彦、須田 健、吉川征一郎、平崎憲範.

第 19 回日本内視鏡外科学会総会 平成 18 年 12 月 7 日 大阪 (2006)

110. 大腸 sm 癌・mp 癌における至適リンパ節郭清範囲に関する検討：菅野雅彦、

平崎憲範、伊藤嘉智、勝野剛太郎、大内昌和、吉川征一郎、飯田義人、須田 健、坂本修一、永仮邦彦、杉山和義、塩野さおり、福永正氣、津村秀憲、木所昭夫。
第 66 回大腸癌研究会 平成 19 年 1 月 19 日 埼玉 (2007)

111. 下部消化管救急における腹腔鏡下手術の適応と限界：勝野剛太郎、福永正氣、津村秀憲、杉山和義、菅野雅彦、永仮邦彦、須田 健、吉川征一郎、伊藤嘉智、木所昭夫。

第 43 回日本腹部救急医学会総会 平成 19 年 3 月 9 日 東京 (2007)

112. 十二指腸憩室穿孔の 1 手術例：平崎憲範、福永正氣、津村秀憲、射場敏明、杉山和義、菅野雅彦、永仮邦彦、坂本修一、須田 健、吉川征一郎、大内昌和、伊藤嘉智、勝野剛太郎、木所昭夫。

第 43 回日本腹部救急医学会総会 平成 19 年 3 月 9 日 東京 (2007)

113. 胸腔鏡下ドレナージ術を施行した特発性食道破裂の一例：吉川征一郎、福永正氣、津村秀憲、杉山和義、永仮邦彦、須田 健、菅野雅彦、勝野剛太郎、伊藤嘉智、大内昌和。

第 43 回日本腹部救急医学会総会 平成 19 年 3 月 9 日 東京 (2007)

114. 当科における腹腔鏡補助下幽門側胃切除の現状：吉川征一郎、福永正氣、津村秀憲、射場敏明、杉山和義、永仮邦彦、菅野雅彦、須田 健、勝野剛太郎。

第 107 回日本外科学会総会 平成 19 年 4 月 12 日 大阪 (2007)

115. 腹腔鏡下大腸癌手術の現状と問題点：永仮邦彦、福永正氣、津村秀憲、杉山和義、菅野雅彦、坂本修一、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、勝野剛太郎、大内昌和。

第 107 回日本外科学会総会 平成 19 年 4 月 12 日 大阪 (2007)

116. 穿孔および膿瘍形成性虫垂炎における腹腔鏡下虫垂切除の有用性：勝野剛太郎、福永正氣、津村秀憲、射場敏明、杉山和義、永仮邦彦、菅野雅彦、坂本修一、吉川征一郎、伊藤嘉智、大内昌和、平崎憲範、木所昭夫。

第 107 回日本外科学会総会 平成 19 年 4 月 13 日 大阪 (2007)

117. 腸閉塞にて発見された原発性空腸癌の 1 例：奥村全史、四柳聡子、平崎憲範、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、吉川征一郎、飯田義人、坂本修一、須田 健、菅野雅彦、永仮邦彦、杉山和義、福永正氣、津村秀憲、木所昭夫。

第 33 回東葛地域消化器疾患研究会 平成 19 年 6 月 16 日 千葉 (2007)

118. 腹腔鏡下手術からみた大腸 pSM 癌：菅野雅彦、四柳聡子、平崎憲範、奥村全、伊藤嘉智、勝野剛太郎、大内昌和、吉川征一郎、須田 健、坂本修一、永仮邦彦、

杉山和義、福永正氣、津村秀憲、木所昭夫.

第 33 回東葛地域消化器疾患研究会 平成 19 年 6 月 16 日 千葉 (2007)

119. 血清坑 p53 抗体測定 of 乳癌腫瘍マーカーとしての意義：杉山和義、津村秀憲、福永正氣、菅野雅彦、永仮邦彦、須田 健、坂本修一.

第 15 回日本乳癌学会総会 平成 19 年 6 月 30 日 横浜 (2007)

120. リンパ節転移陽性であった腹腔鏡補助下幽門側胃切除症例の検討：吉川征一郎、福永正氣、津村秀憲、木所昭夫、杉山和義、永仮邦彦、須田 健、菅野雅彦、坂本修一、飯田義人.

第 62 回日本消化器外科学会総会 平成 19 年 7 月 19 日 東京 (2007)

123. 進行大腸癌に対する腹腔鏡下手術の現状と展望：永仮邦彦、福永正氣、津村秀憲、杉山和義、菅野雅彦、坂本修一、飯田義人、吉川征一郎、木所昭夫.

第 62 回日本消化器外科学会総会 平成 19 年 7 月 19 日 東京 (2007)

124. 当科における肝疾患に対する鏡視下手術の位置づけ：勝野剛太郎、福永正氣、津村秀憲、杉山和義、菅野雅彦、永仮邦彦、坂本修一、飯田義人、須田 健、吉川征一郎.

第 62 回日本消化器外科学会総会 平成 19 年 7 月 19 日 東京 (2007)

125. MP 結腸癌からみた D3 郭清の意義：菅野雅彦、大内昌和、勝野剛太郎、吉川征一郎、飯田義人、坂本修一、永仮邦彦、福永正氣、津村秀憲、木所昭夫.

第 62 回日本消化器外科学会総会 平成 19 年 7 月 19 日 東京 (2007)

126. 直腸癌に対する低位前方切除術における反転法の応用：福永正氣、津村秀憲、杉山和義、永仮邦彦、菅野雅彦、飯田義人、須田 健、坂本修一、吉川征一郎、木所昭夫.

第 62 回日本消化器外科学会総会 平成 19 年 7 月 19 日 東京 (2007)

127. 内ヘルニアに対する腹腔鏡下手術の有用性について：伊藤嘉智、福永正氣、津村秀憲、永仮邦彦、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、大内昌和、勝野剛太郎、奥村全史、平崎憲範.

第 20 回日本内視鏡外科学会総会 平成 19 年 11 月 21 日 仙台 (2007)

128. 横行結腸癌に対する腹腔鏡下手術の成績：永仮邦彦、福永正氣、津村秀憲、杉山和義、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、勝野剛太郎.

第 20 回日本内視鏡外科学会総会 平成 19 年 11 月 21 日 仙台 (2007)

129. LADG における術野展開の定型化：吉川征一郎、福永正氣、津村秀憲、杉山和義、永仮邦彦、須田 健、菅野雅彦、飯田義人、勝野剛太郎、大内昌和、伊藤嘉智、

奥村全史、平崎憲範.

第 20 回日本内視鏡外科学会総会 平成 19 年 11 月 20 日 仙台 (2007)

130. 穿孔および膿瘍形成性虫垂炎における腹腔鏡下虫垂切除の診療報酬点数は妥当か?

勝野剛太郎、福永正氣、津村秀憲、杉山和義、菅野雅彦、永仮邦彦、須田 健、
飯田義人、吉川征一郎、木所昭夫.

第 20 回日本内視鏡外科学会総会 平成 19 年 11 月 20 日 仙台 (2007)

131. 当科における大腸癌 p SM 癌手術症例の検討：菅野雅彦、平崎憲範、大内昌和、
坂本修一、福永正氣、津村秀憲.

第 74 回日本消化器内視鏡学会総会 平成 19 年 10 月 20 日 神戸 (2007)

132. 腹腔鏡下手術からみた大腸癌 p SM 癌手術症例の検討：菅野雅彦、福永正氣、
平崎憲範、伊藤嘉智、勝野剛太郎、大内昌和、吉川征一郎、須田 健、飯田義人、
永仮邦彦、杉山和義、津村秀憲.

第 69 回日本臨床外科学会総会 平成 19 年 12 月 1 日 横浜 (2007)

133. 腸管閉鎖における各種エンドステープラーの比較検討：永仮邦彦、福永正氣、
津村秀憲、杉山和義、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、
大内昌和、奥村全史.

第 69 回日本臨床外科学会総会 平成 19 年 11 月 29 日 横浜 (2007)

134. 直腸癌に対する腹腔鏡下前方切除術—合併症回避のコツ—：福永正氣、杉山和義、
永仮邦彦、菅野雅彦、坂本修一、吉川征一郎、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、
平崎憲範、津村秀憲.

第 69 回日本臨床外科学会総会 平成 19 年 11 月 30 日 横浜 (2007)

135. 腹腔鏡下結腸直腸切除における吻合法：吉川征一郎、福永正氣、津村秀憲、杉山和義、
永仮邦彦、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、勝野剛太郎、大内昌和、伊藤嘉智、
平崎憲範.

第 69 回日本臨床外科学会総会 平成 19 年 12 月 1 日 横浜 (2007)

136. 当院における憩室炎治療に対する腹腔下手術の位置づけ：勝野剛太郎、福永正氣、
津村秀憲、杉山和義、菅野雅彦、永仮邦彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、
伊藤嘉智、大内昌和、奥村全史、平崎憲範、木所昭夫.

第 69 回日本臨床外科学会総会 平成 19 年 11 月 30 日 横浜 (2007)

137. Von Recklinghausen 病に合併した褐色細胞腫、gastrointestinal stromal tumor (GIST) の 1 例：大内昌和、福永正氣、奥村全史、平崎憲範、勝野剛太郎、伊藤嘉智、
吉川征一郎、須田 健、飯田義人、永仮邦彦、杉山和義、菅野雅彦、津村秀憲.

第 69 回日本臨床外科学会総会 平成 19 年 11 月 29 日 横浜 (2007)

138. 腸閉塞にて発見された原発性空腸癌の 1 例 過去当院で経験した 10 症例の原発性小腸癌をふまえて：奥村全史、平崎憲範、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、吉川征一郎、飯田義人、須田 健、菅野雅彦、永仮邦彦、杉山和義、福永正氣、津村秀憲、木所昭夫.

第 69 回日本臨床外科学会総会 平成 19 年 12 月 1 日 横浜 (2007)

139. 病歴聴取と身体所見からどこまで診断できるか：伊藤嘉智、福永正氣、津村秀憲、杉山和義、李 慶文、菅野雅彦、永仮邦彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、大内昌和、勝野剛太郎、奥村全史、平崎憲範、木所昭夫.

第 44 回日本腹部救急医学会総会 平成 20 年 3 月 15 日 横浜 (2008)

140. 外傷性横隔膜破裂と鑑別が困難であった Bochdalek 孔ヘルニアの 1 例：平崎憲範、福永正氣、奥村全史、伊藤嘉智、勝野剛太郎、大内昌和、吉川征一郎、須田 健、飯田義人、永仮邦彦、杉山和義、李 慶文、菅野雅彦、津村秀憲、木所昭夫.

第 44 回日本腹部救急医学会総会 平成 20 年 3 月 15 日 横浜 (2008)

141. 急性胆嚢炎に対する腹腔鏡下手術の検討：飯田義人、福永正氣、津村秀憲、杉山和義、永仮邦彦、須田 健、李 慶文、菅野雅彦、吉川征一郎、伊藤嘉智、勝野剛太郎、大内昌和.

肝胆膵外科学会 2008.5

142. 直腸癌に対する腹腔鏡下手術一吻合法を中心に：福永正氣、杉山和義、菅野雅彦、永仮邦彦、飯田義人、須田 健、吉川征一郎、伊藤嘉智、勝野剛太郎、大内昌和、平崎憲範、津村秀憲.

第 108 回日本外科学会総会 平成 20 年 5 月 16 日 長崎 (2008)

143. 腸管閉鎖におけるエンドステープラーの比較検討：永仮邦彦、福永正氣、津村秀憲、杉山和義、菅野雅彦、李 慶文、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、大内昌和、勝野剛太郎、伊藤嘉智、平崎憲範.

第 108 回日本外科学会総会 平成 20 年 5 月 17 日 長崎 (2008)

144. 直腸 S 状結腸内分泌細胞癌の一例：永易希一、福永正氣、杉山和義、永仮邦彦、須田 健、菅野雅彦、李 慶文、飯田義人、吉川征一郎、大内昌和、伊藤嘉智、勝野剛太郎、岡田尚子.

第 809 回外科集談会 平成 20 年 5 月 31 日 東京 (2008)

145. 進行大腸癌に対する腹腔鏡下手術の成績：永仮邦彦、福永正氣、津村秀憲、杉山和義、菅野雅彦、李 慶文、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、勝野剛太郎、大内昌和、

伊藤嘉智、平崎憲範.

第 33 回日本外科系連合学会学術集会 平成 20 年 6 月 13 日 千葉 (2008)

146. 経肛門的に切除を試みた直腸 GIST の 1 例：永易希一、福永正氣、津村秀憲、杉山和義、菅野雅彦、李 慶文、永仮邦彦、飯田義人、須田 健、吉川征一郎、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎.

第 35 回東葛地域消化器疾患研究会 平成 20 年 6 月 21 日 千葉 (2008)

147. 大腸癌に対する腹腔鏡下手術のより安全な器械吻合：永仮邦彦、福永正氣、杉山和義、菅野雅彦、飯田義人、須田 健、吉川征一郎、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎.

第 63 回日本消化器外科学会総会 平成 20 年 7 月 16 日 札幌 (2008)

148. 特発性食道破裂に対する胸腔鏡下手術の試み：菅野雅彦、福永正氣、大内昌和、吉川征一郎、飯田義人、須田 健、李 慶文、永仮邦彦、杉山和義、津村秀憲.

第 63 回日本消化器外科学会総会 平成 20 年 7 月 16 日 札幌 (2008)

149. 根治切除不能胃癌に対する外科治療の成績とその意義：大内昌和、福永正氣、津村秀憲、杉山和義、菅野雅彦、李 慶文、永仮邦彦、飯田義人、須田 健、吉川征一郎.

第 63 回日本消化器外科学会総会 平成 20 年 7 月 16 日 札幌 (2008)

150. 大腸癌に対する腹腔鏡下手術の標準化に向けて：福永正氣、杉山和義、永仮邦彦、菅野雅彦、飯田義人、須田 健、吉川征一郎、伊藤嘉智、勝野剛太郎、大内昌和.

第 63 回日本消化器外科学会総会 平成 20 年 7 月 16 日 札幌 (2008)

151. 早期胃癌に対する腹腔鏡補助下胃切除の検討：吉川征一郎、福永正氣、杉山和義、永仮邦彦、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、伊藤嘉智、平崎憲範、津村秀憲.

第 63 回日本消化器外科学会総会 平成 20 年 7 月 16 日 札幌 (2008)

152. 急性胆嚢炎に対する腹腔鏡下手術の検討：飯田義人、福永正氣、永仮邦彦、須田 健、菅野雅彦、吉川征一郎、勝野剛太郎.

第 63 回日本消化器外科学会総会 平成 20 年 7 月 16 日 札幌 (2008)

153. 当科における潰瘍性大腸炎に対する鏡視下手術の手術経験：伊藤嘉智、福永正氣、津村秀憲、杉山和義、永仮邦彦、菅野雅彦、須田 健、李 慶文、吉川征一郎、平崎憲範.

第 63 回日本消化器外科学会総会 平成 20 年 7 月 17 日 札幌 (2008)

154. 当科における pStageII,III S 状結腸癌に対する腹腔鏡下手術の評価：勝野剛太郎、福永正氣、杉山和義、永仮邦彦、菅野雅彦、吉川征一郎、伊藤嘉智、大内昌和、

平崎憲範、津村秀憲.

第 63 回日本消化器外科学会総会 平成 20 年 7 月 17 日 札幌 (2008)

155. 閉経後乳癌患者への AI 剤投与後の骨代謝と脂質代謝の検討：須田 健、福永正氣、津村秀憲、杉山和義、菅野雅彦、李 慶文、永仮邦彦、吉川征一郎、伊藤嘉智、平崎憲範.

第 16 回日本乳癌学会 平成 20 年 9 月 大阪 (2008)

156. 腸管閉鎖における各種エンドステープラの比較検討：永仮邦彦、福永正氣、津村秀憲、菅野雅彦、李 慶文、須田 健、李 慶文、飯田義人、吉川征一郎、勝野剛太郎、大内昌和.

第 21 回日本内視鏡外科学会総会 平成 20 年 9 月 2 日 横浜 (2008)

157. 穿孔/膿瘍形成憩室炎(HINCHY STGAE I AND II)に対する腹腔鏡下手術と開腹手術の比較検討：勝野剛太郎、福永正氣、永仮邦彦、菅野雅彦、須田 健、吉川征一郎.

第 21 回日本内視鏡外科学会総会 平成 20 年 9 月 2 日 横浜 (2008)

158. 心血管系危険因子を有する症例に対する腹腔鏡下大腸切除術の適応：吉川征一郎、福永正氣、永仮邦彦、須田 健、菅野雅彦、勝野剛太郎、大内昌和、伊藤嘉智.

第 21 回日本内視鏡外科学会総会 平成 20 年 9 月 2 日 横浜 (2008)

159. Nonrecurrent inferior laryngeal nerve を伴う胸部食道癌に対し胸腔下手術を施行した 1 例：菅野雅彦、福永正氣、勝野剛太郎、大内昌和、伊藤嘉智、吉川征一郎、須田 健、飯田義人、永仮邦彦、李 慶文、杉山和義、津村秀憲.

第 21 回日本内視鏡外科学会総会 平成 20 年 9 月 2 日 横浜 (2008)

160. 当院における胃 GIST に対する腹腔鏡下手術症例の検討：大内昌和、福永正氣、杉山和義、菅野雅彦、李 慶文、永仮邦彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、勝野剛太郎、平崎憲範、津村秀憲.

第 21 回日本内視鏡外科学会総会 平成 20 年 9 月 2 日 横浜 (2008)

161. 腹腔鏡下手術にて治療しえた腸重積を呈した Peutz-Jegher 型ポリープの 2 例：

盧 尚志、福永正氣、津村秀憲、杉山和義、李 慶文、菅野雅彦、永仮邦彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、永易希一.

第 810 回外科集談会 平成 20 年 9 月 13 日 東京 (2008)

162. 大腸癌に対する腹腔鏡下手術の術中出血と対策：伊藤嘉智、福永正氣、杉山和義、李 慶文、永仮邦彦、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、大内昌和、勝野剛太郎、津村秀憲.

第 70 回日本臨床外科学会総会 平成 20 年 11 月 27 日 東京 (2008)

163. 新しいエネルギープラットフォーム ForceTriadTM の有用性：勝野剛太郎、福永正氣、津村秀憲、杉山和義、李 慶文、菅野雅彦、永仮邦彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、大内昌和、伊藤嘉智、平崎憲範、永易希一。
第 70 回日本臨床外科学会総会 平成 20 年 11 月 27 日 東京 (2008)

164. 右側結腸癌に対する腹腔鏡下手術 D3 郭清の範囲：菅野雅彦、福永正氣、津村秀憲、杉山和義、李 慶文、永仮邦彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、永易希一。
第 70 回日本臨床外科学会総会 平成 20 年 11 月 28 日 東京 (2008)

165. 当科における腹腔鏡下イレウス解除術の現状：伊藤嘉智、福永正氣、杉山和義、李 慶文、永仮邦彦、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、大内昌和、勝野剛太郎、平崎憲範、津村秀憲。
第 70 回日本臨床外科学会総会 平成 20 年 11 月 28 日 東京 (2008)

166. 呼吸器・循環器危険因子を有する症例に対する腹腔鏡下大腸切除術の適応：吉川征一郎、福永正氣、杉山和義、永仮邦彦、李 慶文、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、永易希一、津村秀憲。
第 70 回日本臨床外科学会総会 平成 20 年 11 月 28 日 東京 (2008)

167. E-PASS scoring system を用いた高齢者胃癌切除症例の検討：李 慶文、福永正氣、津村秀憲、杉山和義、菅野雅彦、永仮邦彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、永易希一。
第 70 回日本臨床外科学会総会 平成 20 年 11 月 28 日 東京 (2008)

168. 大腸癌に対する腹腔鏡下手術のより安全な器械吻合：永仮邦彦、福永正氣、津村秀憲、杉山和義、李 慶文、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、勝野剛太郎、伊藤嘉智、大内昌和、永易希一。
第 70 回日本臨床外科学会総会 平成 20 年 11 月 28 日 東京 (2008)

169. 早期胃癌に対する腹腔鏡補助下幽門側胃切除術の導入—術式・操作の定型化—：吉川征一郎、福永正氣、杉山和義、永仮邦彦、李 慶文、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、永易希一、津村秀憲。
第 70 回日本臨床外科学会総会 平成 20 年 11 月 28 日 東京 (2008)

170. 慢性膵炎の経過中に膵管胸腔内瘻を併発した 1 例：飯田義人、福永正氣、津村秀憲、杉山和義、永仮邦彦、菅野雅彦、須田 健、吉川征一郎、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、永易希一、木所昭夫。
第 36 回東葛地域消化器疾患研究会 平成 20 年 11 月 15 日 千葉 (2008)

171. 乳頭異常分泌を伴った男性嚢胞内乳癌の 1 例：伊藤嘉智、福永正氣、杉山和義、李 慶文、菅野雅彦、永仮邦彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、大内昌和、勝野剛太郎、永易希一、平崎憲範、津村秀憲.

第 13 回乳管内視鏡研究会 平成 20 年 11 月 福井 (2008)

172. 血性乳頭異常分泌にて dochectmy 施行後 10 年目に浸潤性乳癌を認めた 1 例：須田 健、福永正氣、津村秀憲、杉山和義、菅野雅彦、李 慶文、永仮邦彦、飯田義人、吉川征一郎、大内昌和、伊藤嘉智、勝野剛太郎、平崎憲範.

第 13 回乳管内視鏡研究会 平成 20 年 11 月 福井 (2008)

173. A 型胃炎を背景とした多発性胃カルチノイドに対し内視鏡的治療を施行した 1 例：菅野雅彦、福永正氣、山中晃一郎、平崎憲範、永易希一、伊藤嘉智、勝野剛太郎、大内昌和、吉川征一郎、飯田義人、須田 健、永仮邦彦、李 慶文、杉山和義、津村秀憲.

第 87 回日本消化器内視鏡学会関東地方会 平成 20 年 12 月 12 日 東京 (2008)

174. 男性嚢胞内乳癌の 1 例：猪狩史江、福永正氣、津村秀憲、杉山和義、永仮邦彦、須田 健、李 慶文、菅野雅彦、吉川征一郎、伊藤嘉智、勝野剛太郎.

第 5 回日本乳癌学会会関東地方会 平成 20 年 12 月 埼玉 (2008)

175. 妊娠症例に対する腹腔鏡下虫垂切除術の有用性：吉川征一郎、福永正氣、杉山和義、永仮邦彦、李 慶文、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、永易希一、岡田尚子、津村秀憲.

第 21 回千葉内視鏡外科研究会 千葉 2009.1

176. 広範な表皮内進展を示した Paget 病の 1 例：須田 健、福永正氣、津村秀憲、杉山和義、李 慶文、菅野雅彦、永仮邦彦、飯田義人、吉川征一郎、大内昌和、伊藤嘉智、勝野剛太郎、永易希一、猪狩史江.

第 16 回お茶の水乳腺研究会 平成 21 年 3 月 27 日 東京 (2009)

177. 乳管内視鏡で診断した乳癌の 1 例：須田 健、福永正氣、津村秀憲、杉山和義、菅野雅彦、李 慶文、永仮邦彦、飯田義人、吉川征一郎、大内昌和、伊藤嘉智、勝野剛太郎、永易希一、猪狩史江.

第 3 回葛南乳腺研究会 平成 21 年 3 月 27 日 千葉 (2009)

178. ガイドラインにのっとり急性胆嚢炎に対する腹腔鏡下手術の検討：飯田義人、福永正氣、津村秀憲、杉山和義、永仮邦彦、菅野雅彦、李 慶文、須田 健、吉川征一郎、大内昌和、伊藤嘉智、勝野剛太郎.

第 45 回日本腹部救急医学会総会 平成 21 年 3 月 12 日 東京 (2009)

179. 下部消化管内視鏡関連合併症に対する緊急腹腔鏡下手術の評価：吉川征一郎、福永正氣、杉山和義、永仮邦彦、李 慶文、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、永易希一、津村秀憲.

第 45 回日本腹部救急医学会総会 平成 21 年 3 月 12 日 東京 (2009)

180. 小児急性虫垂炎に対する腹腔鏡下虫垂切除術の適応と限界：勝野剛太郎、福永正氣、津村秀憲、杉山和義、李 慶文、菅野雅彦、永仮邦彦、須田 健、吉川征一郎、木所昭夫.

第 45 回日本腹部救急医学会総会 平成 21 年 3 月 12 日 東京 (2009)

181. 気腹症を伴った腸管気腹症の 1 例：馬越裕子、福永正氣、杉山和義、李 慶文、菅野雅彦、永仮邦彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、永易希一、平崎憲範、津村秀憲.

第 45 回日本腹部救急医学会総会 平成 21 年 3 月 12 日 東京 (2009)

182. 横行結腸癌に対する腹腔鏡下手術：永仮邦彦、福永正氣、津村秀憲、杉山和義、菅野雅彦、李 慶文、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、勝野剛太郎、大内昌和、伊藤嘉智、永易希一.

第 109 回日本外科学会総会 平成 21 年 4 月 2 日 福岡 (2009)

183. 新しいエネルギープラットフォーム Force-Triad を使用した LigaSure の有用性—従来の LigaSure との比較—：勝野剛太郎、福永正氣、津村秀憲、杉山和義、永仮邦彦、李 慶文、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智.

第 109 回日本外科学会総会 平成 21 年 4 月 2 日 福岡 (2009)

184. 次世代を担う術者によるリンパ節郭清 2 腓上縁のリンパ節郭清：永仮邦彦、福永正氣、津村秀憲、杉山和義、菅野雅彦、李 慶文、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、大内昌和、伊藤嘉智、勝野剛太郎、平崎憲範.

第 15 回関東腹腔鏡下胃切除研究会、東京 2009.4

185. 慢性膵炎の経過中に膵管胸腔瘻を併発した 1 例：飯田義人、福永正氣、津村秀憲、杉山和義、永仮邦彦、菅野雅彦、李 慶文、吉川征一郎、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎.

第 21 回日本肝胆膵外科学会学術集会 名古屋 平成 21 年 6 月 (2009)

186. 局所再発に対しアロマターゼ阻害剤が有効であった 1 例：服部友香、福永正氣、津村秀憲、杉山和義、李 慶文、永仮邦彦、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、大内昌和、伊藤嘉智、勝野剛太郎、平崎憲範.

第 40 回千葉乳腺疾患研究会 平成 21 年 6 月 千葉 (2009)

187. 腹腔鏡下に修復した Bochdalek 孔ヘルニアの 1 例：平崎憲範、福永正氣、津村秀憲、杉山和義、永仮邦彦、菅野雅彦、李 慶文、飯田義人、須田 健、吉川征一郎、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、木所昭夫.

第 37 回東葛地域消化器疾患研究会 平成 21 年 6 月 6 日 千葉 (2009)

188. 腹部救急疾患における腹腔鏡下手術の可能性—下部消化管穿孔などへの当科の取り組み—：伊藤嘉智、福永正氣、津村秀憲、杉山和義、李 慶文、菅野雅彦、永仮邦彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、大内昌和、勝野剛太郎、平崎憲範、服部友香.

第 34 回日本外科系連合学会学術集会 平成 21 年 6 月 18 日 千葉 (2009)

189. 横行結腸癌に対する腹腔鏡下手術：永仮邦彦、福永正氣、津村秀憲、杉山和義、李 慶文、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、大内昌和、伊藤嘉智、勝野剛太郎、平崎憲範、服部友香.

第 34 回日本外科系連合学会学術集会 平成 21 年 6 月 19 日 千葉 (2009)

190. 当科における定型的腹腔鏡補助下幽門側胃切除術：大内昌和、福永正氣、杉山和義、菅野雅彦、李 慶文、永仮邦彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、勝野剛太郎、平崎憲範、服部友香、津村秀憲.

第 56 回千葉県外科医会 平成 21 年 7 月 4 日 千葉 (2009)

191. 当科における右側結腸癌に対する腹腔鏡下手術 D3 郭清：菅野雅彦、福永正氣、勝野剛太郎、伊藤嘉智、大内昌和、吉川征一郎、飯田義人、永仮邦彦、李 慶文、津村秀憲.

第 64 回日本消化器外科学会総会 平成 21 年 7 月 17 日 大阪 (2009)

192. 直腸癌に対する腹腔鏡下手術—安全な切離と吻合の工夫—：福永正氣、杉山和義、菅野雅彦、李 慶文、永仮邦彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、勝野剛太郎.

第 64 回日本消化器外科学会総会 平成 21 年 7 月 16 日 大阪 (2009)

193. 結腸癌に対する腹腔鏡下手術の標準化：永仮邦彦、福永正氣、津村秀憲、李 慶文、菅野雅彦、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎.

第 64 回日本消化器外科学会総会 平成 21 年 7 月 16 日 大阪 (2009)

194. 腹腔鏡補助下幽門側胃切除術におけるチームとしての手技の標準化：吉川征一郎、福永正氣、永仮邦彦、李 慶文、菅野雅彦、飯田義人、伊藤嘉智、勝野剛太郎、大内昌和、永易希一.

第 64 回日本消化器外科学会総会 平成 21 年 7 月 16 日 大阪 (2009)

195. 当科における GIST 手術症例の検討：大内昌和、福永正氣、津村秀憲、杉山和義、

李 慶文、菅野雅彦、永仮邦彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎.

第 64 回日本消化器外科学会総会 平成 21 年 7 月 16 日 大阪 (2009)

196. stageIV 大腸癌に対する腹腔鏡下大腸切除の評価: 勝野剛太郎、福永正氣、津村秀憲、
李 慶文、菅野雅彦、永仮邦彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎.

第 64 回日本消化器外科学会総会 平成 21 年 7 月 17 日 大阪 (2009)

197. 当科で経験した大腸癌イレウス 39 例の検討: 伊藤嘉智、福永正氣、津村秀憲、永仮
邦彦、菅野雅彦、李 慶文、飯田義人、吉川征一郎、勝野剛太郎、大内昌和.

第 64 回日本消化器外科学会総会 平成 21 年 7 月 17 日 大阪 (2009)

198. 臍 Solid Pseudopapillary Tumor の 3 例: 飯田義人、福永正氣、津村秀憲、永仮邦彦、
李 慶文、菅野雅彦、伊藤嘉智.

第 64 回日本消化器外科学会総会 平成 21 年 7 月 17 日 大阪 (2009)

199. 高齢者胃癌症例における術後せん妄と合併症の検討: 李 慶文、福永正氣、津村秀憲、
菅野雅彦、永仮邦彦、飯田義人、吉川征一郎、勝野剛太郎、伊藤嘉智、大内昌和.

第 64 回日本消化器外科学会総会 平成 21 年 7 月 16 日 大阪 (2009)

200. 大腸癌イレウスに起因した盲腸軸捻転症の 1 例: 服部友香、福永正氣、
津村秀憲、杉山和義、李 慶文、永仮邦彦、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、
吉川征一郎、大内昌和、伊藤嘉智、勝野剛太郎、平崎憲範.

第 814 回外科集談会 平成 21 年 9 月 12 日 東京 (2009)

201. 術前化学療法後 N0 乳癌でのセンチネルリンパ節生検の検討: 須田 健、福永正氣、
津村秀憲、杉山和義、菅野雅彦、李 慶文、永仮邦彦、飯田義人、吉川征一郎、
大内昌和、勝野剛太郎、伊藤嘉智、平崎憲範、服部友香.

第 4 回 JBCM 平成 21 年 10 月 31 日 東京 (2009)

202. S 状結腸、直腸癌に対する小切開のない腹腔鏡下手術—incisionless laparoscopic
surgery—: 福永正氣、菅野雅彦、伊藤嘉智、勝野剛太郎、大内昌和、津村秀憲.

第 64 回日本大腸肛門病学会総会 平成 21 年 11 月 6 日 福岡 (2009)

203. 錠剤型腸管洗浄剤 (ビジクリア) で腎不全を併発したと考えられる上行結腸癌の 1
例: 菅野雅彦、福永正氣、伊藤嘉智、勝野剛太郎、大内昌和、永仮邦彦、津村秀憲.

第 64 回日本大腸肛門病学会総会 平成 21 年 11 月 7 日 福岡 (2009)

204. 反転法を応用し腹腔鏡補助下直腸部分切除を施行した直腸早期癌の 1 例: 伊藤嘉智、
福永正氣、津村秀憲、杉山和義、永仮邦彦、李 慶文、菅野雅彦、須田 健、
飯田義人、吉川征一郎、大内昌和、勝野剛太郎、平崎憲範、服部友香.

第 38 回東葛地域消化器疾患研究会 平成 21 年 11 月 14 日 千葉 (2009)

205. 担癌患者末梢血中の制御性 T 細胞(T reg 細胞)の動態と免疫パラメーターの解析：
菅野雅彦、福永正氣、服部友香、平崎憲範、勝野剛太郎、大内昌和、伊藤嘉智、
吉川征一郎、飯田義人、須田 健、永仮邦彦、李 慶文、杉山和義、津村秀憲。
第 71 回日本臨床外科学会総会 平成 21 年 11 月 21 日 京都 (2009)

206. 腹腔鏡下低位前方切除術のコツとピットフォール：永仮邦彦、福永正氣、津村秀憲、
杉山和義、李 慶文、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、大内昌和、
伊藤嘉智、勝野剛太郎、平崎憲範、服部友香。
第 71 回日本臨床外科学会総会 平成 21 年 11 月 21 日 京都 (2009)

207. 左結腸・直腸癌に対する経肛門的イレウス管挿入の功罪：伊藤嘉智、福永正氣、
津村秀憲、杉山和義、李 慶文、永仮邦彦、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、
吉川征一郎、大内昌和、勝野剛太郎、平崎憲範、服部友香。
第 71 回日本臨床外科学会総会 平成 21 年 11 月 19 日 京都 (2009)

208. 乳癌手術時のドレーン挿入に対する一考察：杉山和義、福永正氣、津村秀憲、
永仮邦彦、菅野雅彦、須田 健、吉川征一郎。
第 71 回日本臨床外科学会総会 平成 21 年 11 月 21 日 京都 (2009)

209. Wound retractor(Alexis)を使用した傍乳輪切開からの乳房温存手術の成績：須田 健、
福永正氣、津村秀憲、杉山和義、菅野雅彦、李 慶文、永仮邦彦、飯田義人、
吉川征一郎、大内昌和、伊藤嘉智、勝野剛太郎、平崎憲範、服部友香。
第 71 回日本臨床外科学会総会 平成 21 年 11 月 19 日 京都 (2009)

210. 大腸癌に対する incisionless lap surgery：勝野剛太郎、福永正氣、津村秀憲、
杉山和義、李 慶文、菅野雅彦、永仮邦彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、
大内昌和、伊藤嘉智、平崎憲範、服部友香、木所昭夫。
第 71 回日本臨床外科学会総会 平成 21 年 11 月 21 日 京都 (2009)

211. 腹腔鏡下幽門側胃切除における術者、助手の役割：大内昌和、福永正氣、
杉山和義、菅野雅彦、李 慶文、永仮邦彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、
伊藤嘉智、勝野剛太郎、平崎憲範、服部友香、津村秀憲。
第 71 回日本臨床外科学会総会 平成 21 年 11 月 19 日 京都 (2009)

212. 腹腔鏡下大腸切除術における術式・操作の定型化—術者・助手の役割—：吉川征一郎、
福永正氣、杉山和義、永仮邦彦、李 慶文、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、
伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、平崎憲範、服部友香、津村秀憲。
第 71 回日本臨床外科学会総会 平成 21 年 11 月 20 日 京都 (2009)

213. 成人腸重積症に対する腹腔鏡下手術症例の検討：菅野雅彦、福永正氣、服部友香、平崎憲範、勝野剛太郎、大内昌和、伊藤嘉智、吉川征一郎、飯田義人、須田 健、永仮邦彦、李 慶文、杉山和義、津村秀憲.

第 22 回日本内視鏡外科学会総会 平成 21 年 12 月 5 日 東京都 (2009)

214. S 状結腸癌に対する内視鏡外科手術の長期成績：勝野剛太郎、福永正氣、永仮邦彦、菅野雅彦、李 慶文、須田 健、飯田義人、伊藤嘉智、大内昌和、平崎憲範、服部友香、津村秀憲.

第 22 回日本内視鏡外科学会総会 平成 21 年 12 月 3 日 東京都 (2009)

215. 腹腔鏡下直腸癌手術における正確な剥離操作：永仮邦彦、福永正氣、津村秀憲、杉山和義、李 慶文、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、大内昌和、伊藤嘉智、勝野剛太郎、平崎憲範、服部友香.

第 22 回日本内視鏡外科学会総会 平成 21 年 12 月 3 日 東京都 (2009)

216. 高齢者に対する腹腔鏡補助下幽門側胃切除術の安全性の検討：李 慶文、福永正氣、津村秀憲、杉山和義、永仮邦彦、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、勝野剛太郎、大内昌和、平崎憲範、服部友香.

第 22 回日本内視鏡外科学会総会 平成 21 年 12 月 3 日 東京都 (2009)

217. 腹腔鏡下手術の新しい第 1 ポート挿入法：永仮邦彦、福永正氣、津村秀憲、杉山和義、李 慶文、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、大内昌和、伊藤嘉智、勝野剛太郎、平崎憲範、服部友香.

第 22 回日本内視鏡外科学会総会 平成 21 年 12 月 3 日 東京都 (2009)

218. 大腸癌同時肝転移に対する腹腔鏡下同時切除の検討：飯田義人、福永正氣、津村秀憲、永仮邦彦、李 慶文、菅野雅彦、須田 健、勝野剛太郎、大内昌和、伊藤嘉智、平崎憲範、服部友香.

第 22 回日本内視鏡外科学会総会 平成 21 年 12 月 5 日 東京都 (2009)

219. 腹腔鏡下虫垂切除術の適応と限界：勝野剛太郎、福永正氣、杉山和義、永仮邦彦、菅野雅彦、李 慶文、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、大内昌和、平崎憲範、服部友香、津村秀憲.

第 22 回日本内視鏡外科学会総会 平成 21 年 12 月 5 日 東京都 (2009)

220. 腹腔鏡下手術習得における腹腔鏡下虫垂切除術の有用性：平崎憲範、福永正氣、津村秀憲、菅野雅彦、李 慶文、杉山和義、永仮邦彦、飯田義人、須田 健、吉川征一郎、大内昌和、勝野剛太郎、伊藤嘉智.

第 22 回日本内視鏡外科学会総会 平成 21 年 12 月 4 日 東京都 (2009)

221. 当科における腹腔鏡補助下幽門側胃切除術の成績：吉川征一郎、福永正氣、杉山和義、永仮邦彦、李 慶文、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、平崎憲範、津村秀憲.

第 22 回日本内視鏡外科学会総会 平成 21 年 12 月 4 日 東京都 (2009)

222. 腹腔鏡下手術の新しい第 1Trocar 挿入法：永仮邦彦、福永正氣、津村秀憲、杉山和義、李 慶文、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、大内昌和、伊藤嘉智、勝野剛太郎、平崎憲範、服部友香.

第 15 回千葉内視鏡外科研究会 平成 22 年 1 月 30 日 千葉 (2010)

223. 胃 GIST に対する単孔式腹腔鏡下胃局所切除術の経験：大内昌和、福永正氣、津村秀憲、杉山和義、李 慶文、菅野雅彦、永仮邦彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、勝野剛太郎、平崎憲範、服部友香.

第 15 回千葉内視鏡外科研究会 平成 22 年 1 月 30 日 千葉 (2010)

224. 大腸癌に対する単孔式内視鏡手術—安全に行うための手技的工夫：福永正氣、杉山和義、菅野雅彦、李 慶文、永仮邦彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、勝野剛太郎、大内昌和、平崎憲範、津村秀憲.

第 1 回単孔式内視鏡手術研究会 平成 22 年 2 月 20 日 東京都 (2010)

225. 柿胃石による腸閉塞に対し単孔式腹腔鏡下手術を施行した 1 例：服部友香、福永正氣、津村秀憲、杉山和義、李 慶文、永仮邦彦、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、大内昌和、伊藤嘉智、勝野剛太郎、平崎憲範.

第 816 回外科集談会 平成 21 年 3 月 13 日 東京 (2010)

226. 腹腔鏡下手術における術中出血に対する対処：吉川征一郎、福永正氣、杉山和義、永仮邦彦、李 慶文、菅野雅彦、飯田義人、須田 健、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、平崎憲範、服部友香.

第 46 回日本腹部救急医学会総会 平成 22 年 3 月 18-19 日 富山 (2010)

227. 腹部外傷に対する腹腔鏡下手術の有用性について：伊藤嘉智、福永正氣、津村秀憲、杉山和義、李 慶文、菅野雅彦、永仮邦彦、飯田義人、吉川征一郎、大内昌和、勝野剛太郎、平崎憲範、服部友香.

第 46 回日本腹部救急医学会総会 平成 22 年 3 月 18-19 日 富山 (2010)

228. 炎症性腸疾患に対する緊急腹腔鏡下手術の検討：平崎憲範、福永正氣、杉山和義、永仮邦彦、李 慶文、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、服部友香、津村秀憲.

第 46 回日本腹部救急医学会総会 平成 22 年 3 月 18-19 日 富山 (2010)

229. 当科における横行結腸癌に対する腹腔鏡下手術：永仮邦彦、福永正氣、津村秀憲、杉山和義、李 慶文、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、大内昌和、伊藤嘉智、勝野剛太郎、平崎憲範、服部友香.

第 110 回日本外科学会総会 平成 22 年 4 月 10 日 名古屋 (2010)

230. 穿孔・膿瘍形成憩室炎治療に対する腹腔鏡下手術の適応と限界：勝野剛太郎、福永正氣、津村秀憲、杉山和義、永仮邦彦、菅野雅彦、李 慶文、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、大内昌和、平崎憲範、服部友香、木所昭夫.

第 110 回日本外科学会総会 平成 22 年 4 月 8 日 名古屋 (2010)

231. 当科における腹腔鏡補助下幽門側胃切除術の術後経過と長期成績：吉川征一郎、福永正氣、杉山和義、永仮邦彦、李 慶文、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、平崎憲範、津村秀憲.

第 110 回日本外科学会総会 平成 22 年 4 月 9 日 名古屋 (2010)

232. 術前に多発肝膿瘍を来した進行性胃癌の 1 例：菅野雅彦、福永正氣、服部友香、平崎憲範、勝野剛太郎、大内昌和、伊藤嘉智、吉川征一郎、飯田義人、須田 健、永仮邦彦、李 慶文、杉山和義、津村秀憲.

第 35 回日本外科系連合学会学術集会 平成 22 年 6 月 17 日 千葉 (2010)

233. 腹腔鏡下盲腸部分切除の検討：平崎憲範、福永正氣、菅野雅彦、李 慶文、永仮邦彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、鷺尾真理愛、津村秀憲.

第 39 回東葛地域消化器疾患研究会 平成 22 年 6 月 19 日 千葉 (2010)

234. 当科における腹腔鏡下虫垂切除術：平崎憲範、福永正氣、津村秀憲、杉山和義、永仮邦彦、菅野雅彦、李 慶文、飯田義人、須田 健、吉川征一郎、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、鷺尾真理愛.

第 59 回千葉県外科医会 平成 22 年 7 月 3 日 千葉 (2010)

235. 担癌患者末梢血中および腫瘍浸潤リンパ球における制御性 T 細胞の解析：菅野雅彦、福永正氣、勝野剛太郎、大内昌和、伊藤嘉智、吉川征一郎、飯田義人、永仮邦彦、李 慶文、津村秀憲.

第 65 回日本消化器外科学会総会 平成 22 年 7 月 14 日 下関 (2010)

236. 大腸低分化腺癌の臨床病理学的検討：伊藤嘉智、福永正氣、李 慶文、菅野雅彦、永仮邦彦、飯田義人、吉川征一郎、大内昌和、勝野剛太郎、平崎憲範.

第 65 回日本消化器外科学会総会 平成 22 年 7 月 14 日 下関 (2010)

237. 大腸癌に対する内視鏡外科手術の標準化に向けて一横行結腸癌と下部直腸癌一：永仮

邦彦、福永正氣、津村秀憲、李 慶文、菅野雅彦、飯田義人、吉川征一郎、大内昌和、伊藤嘉智、勝野剛太郎。

第 65 回日本消化器外科学会総会 平成 22 年 7 月 14 日 下関 (2010)

238. 大腸癌に対する Single Port Surgery&Incisionless Lap Surgery : 勝野剛太郎、福永正氣、津村秀憲、李 慶文、菅野雅彦、永仮邦彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、津村秀憲。

第 65 回日本消化器外科学会総会 平成 22 年 7 月 15 日 下関 (2010)

239. 上部進行胃癌に対する脾摘の意義 : 大内昌和、福永正氣、杉山和義、李 慶文、菅野雅彦、永仮邦彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、津村秀憲。

第 65 回日本消化器外科学会総会 平成 22 年 7 月 15 日 下関 (2010)

240. 循環器・呼吸器危険因子を有する症例に対する腹腔鏡下大腸癌切除の成績 : 吉川征一郎、福永正氣、永仮邦彦、李 慶文、菅野雅彦、飯田義人、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、平崎憲範。

第 65 回日本消化器外科学会総会 平成 22 年 7 月 16 日 下関 (2010)

241. 腹腔鏡下手術からみた早期大腸癌の検討 : 菅野雅彦、福永正氣、勝野剛太郎、大内昌和、永仮邦彦、津村秀憲。

第 65 回日本大腸肛門病学会学術集会 平成 22 年 11 月 26 日 浜松 (2010)

242. LST に対する腹腔鏡下手術の検討 : 大内昌和、福永正氣、李 慶文、菅野雅彦、永仮邦彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、勝野剛太郎、平崎憲範、鷲尾真理愛、津村秀憲。

第 65 回日本大腸肛門病学会学術集会 平成 22 年 11 月 26 日 浜松 (2010)

243. 大腸癌に対する新しい腹腔鏡下手術~Single Incision Laparoscopic Colectomy (SILS)/Incisionless Lap Surgery(ILS)~: 勝野剛太郎、福永正氣、永仮邦彦、菅野雅彦、李 慶文、飯田義人、吉川征一郎、大内昌和、伊藤嘉智、平崎憲範。

第 65 回日本大腸肛門病学会学術集会 平成 22 年 11 月 26 日 浜松 (2010)

244. 横行結腸癌に対する腹腔鏡下手術 : 永仮邦彦、福永正氣、津村秀憲、李 慶文、菅野雅彦、飯田義人、吉川征一郎、大内昌和、伊藤嘉智、勝野剛太郎。

第 65 回日本大腸肛門病学会学術集会 平成 22 年 11 月 26 日 浜松 (2010)

245. 大腸癌における腹腔鏡下手術の切離と吻合の工夫—prolapsing 法の検討— : 菅野雅彦、福永正氣、鷲尾真理愛、平崎憲範、勝野剛太郎、大内昌和、伊藤嘉智、吉川征一郎、飯田義人、須田 健、永仮邦彦、李 慶文、津村秀憲。

第 23 回日本内視鏡外科学会総会 平成 22 年 10 月 19 日 横浜 (2010)

246. 大腸癌に対する単孔式腹腔鏡下手術の適応拡大—癌手術の基本の遵守は可能か？—：福永正氣、菅野雅彦、李 慶文、永仮邦彦、吉川征一郎、須田 健、伊藤嘉智、勝野剛太郎、大内昌和、平崎憲範、津村秀憲.

第 23 回日本内視鏡外科学会総会 平成 22 年 10 月 19 日 横浜 (2010)

247. 単孔式腹腔鏡下虫垂切除—安全性を担保できるか？—：平崎憲範、福永正氣、津村秀憲、杉山和義、永仮邦彦、菅野雅彦、李 慶文、飯田義人、須田 健、吉川征一郎、勝野剛太郎、大内昌和、伊藤嘉智.

第 23 回日本内視鏡外科学会総会 平成 22 年 10 月 19 日 横浜 (2010)

248. 循環器・呼吸器危険因子を有する症例に対する腹腔鏡下大腸癌切除の適応：吉川征一郎、福永正氣、杉山和義、李 慶文、永仮邦彦、須田 健、菅野雅彦、飯田義人、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、平崎憲範、鷺尾真理愛、津村秀憲.

第 23 回日本内視鏡外科学会総会 平成 22 年 10 月 20 日 横浜 (2010)

249. StageIV 大腸癌に対する腹腔鏡下手術の意義：永仮邦彦、福永正氣、津村秀憲、李 慶文、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、大内昌和、伊藤嘉智、勝野剛太郎、平崎憲範.

第 23 回日本内視鏡外科学会総会 平成 22 年 10 月 20 日 横浜 (2010)

250. 直腸癌に対する内視鏡外科手術の長期成績：李 慶文、福永正氣、津村秀憲、永仮邦彦、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、勝野剛太郎、大内昌和、平崎憲範、鷺尾真理愛.

第 23 回日本内視鏡外科学会総会 平成 22 年 10 月 19 日 横浜 (2010)

251. 大腸癌に対する単孔式大腸切除術の適応と手技：勝野剛太郎、福永正氣、永仮邦彦、菅野雅彦、李 慶文、飯田義人、吉川征一郎、大内昌和、伊藤嘉智、平崎憲範.

第 23 回日本内視鏡外科学会総会 平成 22 年 10 月 20 日 横浜 (2010)

252. 当科で経験した advanced laparoscopic surgery での術中臓器損傷症例についての検討：伊藤嘉智、福永正氣、津村秀憲、杉山和義、李 慶文、永仮邦彦、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、大内昌和、勝野剛太郎、平崎憲範、鷺尾真理愛.

第 23 回日本内視鏡外科学会総会 平成 22 年 10 月 19 日 横浜 (2010)

253. 大腸癌肝転移に対する腹腔鏡下同時切除の検討：飯田義人、福永正氣、永仮邦彦、菅野雅彦、李 慶文、須田 健、吉川征一郎、伊藤嘉智、勝野剛太郎、大内昌和、平崎憲範.

第 23 回日本内視鏡外科学会総会 平成 22 年 10 月 20 日 横浜 (2010)

254. 腹腔鏡下大腸切除術における病変摘出の工夫<Natural Orifice としての肛門ルート

の利用＞：大内昌和、福永正氣、李 慶文、菅野雅彦、永仮邦彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、勝野剛太郎、平崎憲範、鷺尾真理愛、津村秀憲。
第 23 回日本内視鏡外科学会総会 平成 22 年 10 月 20 日 横浜 (2010)

255. 右側大腸癌に対する腹腔鏡下手術：菅野雅彦、福永正氣、鷺尾真理愛、平崎憲範、勝野剛太郎、伊藤嘉智、大内昌和、吉川征一郎、須田 健、飯田義人、永仮邦彦、李 慶文、津村秀憲。
第 72 回日本臨床外科学会総会 平成 22 年 11 月 22 日 横浜 (2010)

256. 大腸癌に対する新しい腹腔鏡下手術 Single Incision Laparoscopic Colectomy (SILS)/Incisionless Laparoscopic Colectomy(Incisionless LAC)：勝野剛太郎、福永正氣、津村秀憲、李 慶文、菅野雅彦、永仮邦彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、大内昌和、伊藤嘉智、平崎憲範、鷺尾真理愛。
第 72 回日本臨床外科学会総会 平成 22 年 11 月 23 日 横浜 (2010)

257. 単孔式腹腔鏡下虫垂切除の安全性・有用性の検討：平崎憲範、福永正氣、津村秀憲、李 慶文、菅野雅彦、永仮邦彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、勝野剛太郎、大内昌和、伊藤嘉智、鷺尾真理愛。
第 72 回日本臨床外科学会総会 平成 22 年 11 月 21 日 横浜 (2010)

258. 腹腔鏡結腸切除術によって治癒し得た静脈硬化性大腸炎の 1 例：鷺尾真理愛、福永正氣、津村秀憲、李 慶文、菅野雅彦、永仮邦彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、平崎憲範、山本聖一郎。
第 72 回日本臨床外科学会総会 平成 22 年 11 月 21 日 横浜 (2010)

259. 腹腔鏡補助下幽門側胃切除術における長期成績：吉川征一郎、福永正氣、李 慶文、永仮邦彦、須田 健、菅野雅彦、飯田義人、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、平崎憲範、鷺尾真理愛。
第 72 回日本臨床外科学会総会 平成 22 年 11 月 22 日 横浜 (2010)

260. 腹腔鏡下直腸癌手術における安全な剥離と切除：永仮邦彦、福永正氣、津村秀憲、李 慶文、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、大内昌和、伊藤嘉智、勝野剛太郎、平崎憲範、鷺尾真理愛。
第 72 回日本臨床外科学会総会 平成 22 年 11 月 22 日 横浜 (2010)

261. 単孔式腹腔鏡下虫垂切除術の安全性・有用性の検討：平崎憲範、福永正氣、永仮邦彦、菅野雅彦、李 慶文、飯田義人、吉川征一郎、勝野剛太郎、大内昌和、伊藤嘉智。
第 3 回単孔式内視鏡手術研究会 平成 23 年 2 月 19 日 東京都 (2011)

262. 単孔式腹腔鏡下手術で摘出した義歯誤飲の 1 例：伊藤嘉智、福永正氣、李 慶文、菅野雅彦、永仮邦彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、大内昌和、勝野剛太郎、平崎憲範、鷺尾真理愛、津村秀憲.

第 820 回外科集談会 平成 23 年 3 月 26 日 東京 (2011)

263. 肥満患者における腹腔鏡下大腸手術の注意点：大内昌和、福永正氣、永仮邦彦、菅野雅彦、李 慶文、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、勝野剛太郎、平崎憲範、津村秀憲.

第 111 回日本外科学会総会 紙上開催 平成 23 年 5 月 東京 (2011)

264. 大腸癌に対する Single Incision Laparoscopic Colectomy(SILS)の短期成績：勝野剛太郎、福永正氣、津村秀憲、永仮邦彦、菅野雅彦、李 慶文、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、大内昌和、伊藤嘉智、平崎憲範、鷺尾真理愛.

第 111 回日本外科学会総会 紙上開催 平成 23 年 5 月 東京 (2011)

265. 腹腔鏡下大腸切除術の肥満症例における手術リスクの検討：吉川征一郎、福永正氣、永仮邦彦、李 慶文、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、平崎憲範.

第 111 回日本外科学会総会 紙上開催 平成 23 年 5 月 東京 (2011)

266. 直腸癌に対する腹腔鏡下手術のより安全な切離吻合：永仮邦彦、福永正氣、津村秀憲、李 慶文、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、大内昌和、伊藤嘉智、勝野剛太郎、平崎憲範.

第 111 回日本外科学会総会 紙上開催 平成 23 年 5 月 東京 (2011)

267. 腫瘍浸潤リンパ球における制御性 T 細胞の解析：菅野雅彦、福永正氣、須貝 歩、夕部由規謙、平崎憲範、勝野剛太郎、伊藤嘉智、大内昌和、吉川征一郎、須田 健、飯田義人、永仮邦彦、李 慶文.

第 2 回千葉癌免疫治療研究会 平成 23 年 5 月 13 日 千葉 (2011)

268. 単孔式腹腔鏡下腓尾部腫瘍核出術にて治癒しえたインスリノーマの 1 例：須貝 歩、福永正氣、李 慶文、菅野雅彦、永仮邦彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、平崎憲範、夕部由規謙.

第 41 回東葛地域消化器疾患研究会 平成 23 年 6 月 4 日 千葉 (2011)

269. 基礎疾患を有する大網裂孔ヘルニア嵌頓に対する腹腔鏡下手術を施行し多科と連携した一例：鷺尾真理愛、福永正氣、李 慶文、菅野雅彦、永仮邦彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、平崎憲範、津村秀憲.

第 35 回日本外科系連合学会学術集会 平成 23 年 6 月 16 日 千葉 (2011)

270. 膵十二指腸動脈瘤による Hemosuccus pancreaticus の 1 例：平井琢也、福永正氣、李 慶文、菅野雅彦、永仮邦彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、平崎憲範、鷲尾真理愛.

第 35 回日本外科系連合学会学術集会 平成 23 年 6 月 16 日 千葉 (2011)

271. 大腸癌における腹腔鏡下手術の切離と吻合の工夫—反転法の検討—：菅野雅彦、福永正氣、勝野剛太郎、大内昌和、伊藤嘉智、吉川征一郎、飯田義人、永仮邦彦、李 慶文、津村秀憲.

第 66 回日本消化器外科学会総会 平成 23 年 7 月 14 日 名古屋 (2011)

272. 腹腔鏡補助下幽門側胃切除術 Billroth-I 法における Hemi-double stapling technique の評価：李 慶文、福永正氣、永仮邦彦、菅野雅彦、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、津村秀憲.

第 66 回日本消化器外科学会総会 平成 23 年 7 月 日 名古屋 (2011)

273. 直腸癌に対する腹腔鏡下側方郭清：永仮邦彦、福永正氣、津村秀憲、李 慶文、菅野雅彦、飯田義人、吉川征一郎、大内昌和、伊藤嘉智、勝野剛太郎.

第 66 回日本消化器外科学会総会 平成 23 年 7 月 日 名古屋 (2011)

274. 単孔式腹腔鏡下手術におけるスコピストの役割：平崎憲範、福永正氣、永仮邦彦、菅野雅彦、李 慶文、吉川征一郎、飯田義人、須田 健、津村秀憲.

第 66 回日本消化器外科学会総会 平成 23 年 7 月 日 名古屋 (2011)

275. 肥満患者における腹腔鏡下大腸切除術の検討：大内昌和、福永正氣、永仮邦彦、菅野雅彦、李 慶文、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、津村秀憲.

第 66 回日本消化器外科学会総会 平成 23 年 7 月 日 名古屋 (2011)

276. 循環器・呼吸器リスク症例に対する腹腔鏡下大腸切除術：吉川征一郎、福永正氣、李 慶文、永仮邦彦、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、伊藤嘉智、平崎憲範、津村秀憲.

第 66 回日本消化器外科学会総会 平成 23 年 7 月 日 名古屋 (2011)

277. 大腸癌に対する Single Incision Laparoscopic Colectomy の適応と手技上の工夫：勝野剛太郎、福永正氣、李 慶文、菅野雅彦、永仮邦彦、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、平崎憲範.

第 66 回日本消化器外科学会総会 平成 23 年 7 月 日 名古屋 (2011)

278. 大腸癌に対する単孔式腹腔鏡下大腸切除術～当科の手術適応・標準的な手術手技～：勝野剛太郎、福永正氣、李 慶文、永仮邦彦、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、伊藤嘉智、大内昌和、徳田恵美、平崎憲範、須貝 歩、夕部由規謙.

第 4 回単孔式内視鏡手術研究会 平成 23 年 8 月 27 日 東京 (2011)

279. 単孔式腹腔鏡下虫垂切除術の安全性・有用性の検討: 平崎憲範、福永正氣、李 慶文、永仮邦彦、菅野雅彦、飯田義人、吉川征一郎、大内昌和、勝野剛太郎、伊藤嘉智.

第 4 回単孔式内視鏡手術研究会 平成 23 年 8 月 27 日 東京 (2011)

280. 乳管内乳頭腫に対する乳管内視鏡下切除術症例の長期成績: 須田 健、福永正氣、津村秀憲、李 慶文、菅野雅彦、永仮邦彦、吉川征一郎、伊藤嘉智、勝野剛太郎、平崎憲範.

第 19 回日本乳癌学会総会 平成 23 年 9 月 2 日 仙台 (2011)

281. 当科における内視鏡下摘除後の大腸 SM 癌の検討: 菅野雅彦、福永正氣、平崎憲範、勝野剛太郎、大内昌和、伊藤嘉智、吉川征一郎、飯田義人、永仮邦彦、李 慶文.

JDDW 2011 (第 9 回日本消化器外科学会大会) 平成 23 年 10 月 22 日 福岡 (2011)

282. 急性胆嚢炎に対する腹腔鏡下手術の検討: 飯田義人、福永正氣、李 慶文、永仮邦彦、須田 健、菅野雅彦、須吉川征一郎、伊藤嘉智、勝野剛太郎、大内昌和、平崎憲範.

JDDW 2011 (第 9 回日本消化器外科学会大会) 平成 23 年 10 月 22 日 福岡 (2011)

283. 成人腸重積症に対する腹腔鏡下手術の有用性の検討: 菅野雅彦、福永正氣、須貝 歩、夕部由規謙、平崎憲範、勝野剛太郎、大内昌和、伊藤嘉智、吉川征一郎、飯田義人、須田 健、永仮邦彦、李 慶文.

第 73 回日本臨床外科学会大会 平成 23 年 11 月 17 日 東京 (2011)

284. 腹腔鏡下大腸切除術クリニカルパスの変遷と ERAS の導入: 吉川征一郎、福永正氣、李 慶文、永仮邦彦、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、平崎憲範、須貝 歩、夕部由規謙.

第 73 回日本臨床外科学会大会 平成 23 年 11 月 19 日 東京 (2011)

285. 腹腔鏡下大腸切除術の利点と今後の展望: 吉川征一郎、福永正氣、李 慶文、永仮邦彦、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、平崎憲範、須貝 歩、夕部由規謙.

第 73 回日本臨床外科学会大会 平成 23 年 11 月 18 日 東京 (2011)

286. 腹腔鏡下胃切除術における術中出血の予防と対処: 李 慶文、福永正氣、永仮邦彦、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、勝野剛太郎、伊藤嘉智、大内昌和、平崎憲範、夕部由規謙、須貝 歩、徳田恵美.

第 73 回日本臨床外科学会大会 平成 23 年 11 月 17 日 東京 (2011)

287. ここま出来る単孔式腹腔鏡下大腸切除術: 勝野剛太郎、福永正氣、李 慶文、

永俣邦彦、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、大内昌和、
須貝 歩、夕部由規謙.

第 73 回日本臨床外科学会大会 平成 23 年 11 月 17 日 東京 (2011)

288. 大腸癌に対する次世代の手術～単孔式腹腔鏡下大腸切除～：勝野剛太郎、福永正氣、
李 慶文、永俣邦彦、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、大内昌和、
平崎憲範、須貝 歩、夕部由規謙.

第 73 回日本臨床外科学会大会 平成 23 年 11 月 18 日 東京 (2011)

289. 横行結腸癌に対する内視鏡下手術の Knack&Pitfalls：永俣邦彦、福永正氣、
李 慶文、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、大内昌和、
勝野剛太郎、平崎憲範.

第 73 回日本臨床外科学会大会 平成 23 年 11 月 19 日 東京 (2011)

290. 直腸癌の内視鏡下手術における側方郭清：永俣邦彦、福永正氣、李 慶文、菅野雅彦、
須田 健、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、平崎憲範.

第 73 回日本臨床外科学会大会 平成 23 年 11 月 18 日 東京 (2011)

291. 肥満患者における腹腔鏡下直腸癌手術の工夫：大内昌和、福永正氣、李 慶文、
菅野雅彦、永俣邦彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、勝野剛太郎、
平崎憲範、須貝 歩、夕部由規謙.

第 73 回日本臨床外科学会大会 平成 23 年 11 月 18 日 東京 (2011)

292. 人手の要らない腹腔鏡下手術としての単孔式腹腔鏡下結腸手術：大内昌和、福永正氣、
李 慶文、菅野雅彦、永俣邦彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、
勝野剛太郎、平崎憲範、須貝 歩、夕部由規謙.

第 73 回日本臨床外科学会大会 平成 23 年 11 月 19 日 東京 (2011)

293. 大腸癌同時肝転移に対する腹腔鏡下肝切除の検討：飯田義人、福永正氣、永俣邦彦、
須田 健、李 慶文、菅野雅彦、須吉川征一郎、勝野剛太郎、伊藤嘉智、大内昌和、
須貝 歩、夕部由規謙.

第 73 回日本臨床外科学会大会 平成 23 年 11 月 17 日 東京 (2011)

294. 腹腔鏡下大腸切除術における術中出血に対する対処：平崎憲範、福永正氣、李 慶文、
菅野雅彦、永俣邦彦、飯田義人、須田 健、吉川征一郎、勝野剛太郎、伊藤嘉智、
大内昌和、夕部由規謙、須貝 歩.

第 73 回日本臨床外科学会大会 平成 23 年 11 月 17 日 東京 (2011)

295. 単孔式腹腔鏡下腓尾部腫瘍核出術にて切除治癒しえたインスリノーマの一例：
須貝 歩、福永正氣、李 慶文、菅野雅彦、永俣邦彦、須田 健、飯田義人、

吉川征一郎、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、平崎憲範、夕部由規謙.
第 73 回日本臨床外科学会大会 平成 23 年 11 月 19 日 東京 (2011)

296. 腹腔鏡下人工肛門脱根治術におけるパリテックスTM コンポジットメッシュの使用経験：夕部由規謙、福永正氣、李 慶文、永仮邦彦、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、平崎憲範、須貝 歩.
第 73 回日本臨床外科学会大会 平成 23 年 11 月 18 日 東京 (2011)

297. 腹腔鏡下直腸癌手術におけるステープリングデバイスの適切な選択と使用方法：菅野雅彦、福永正氣、須貝 歩、夕部由規謙、平崎憲範、勝野剛太郎、大内昌和、伊藤嘉智、吉川征一郎、飯田義人、須田 健、永仮邦彦、李 慶文.
第 24 回日本内視鏡外科学会総会 平成 23 年 12 月 9 日 大阪 (2011)

298. 腹腔鏡下結腸切除術の手術チームにおける手術手技定型化：吉川征一郎、福永正氣、李 慶文、永仮邦彦、菅野雅彦、須田 健、伊藤嘉智、飯田義人、大内昌和、勝野剛太郎、平崎憲範、須貝 歩、夕部由規謙.
第 24 回日本内視鏡外科学会総会 平成 23 年 12 月 7 日 大阪 (2011)

299. 急性胆嚢炎に対する単孔式腹腔鏡下胆嚢摘出術の適応：飯田義人、福永正氣、永仮邦彦、李 慶文、菅野雅彦、須吉川征一郎、勝野剛太郎、大内昌和、伊藤嘉智、平崎憲範、須貝 歩、夕部由規謙.
第 24 回日本内視鏡外科学会総会 平成 23 年 12 月 8 日 大阪 (2011)

300. 大腸癌に対する単孔式腹腔鏡下大腸切除術の適応拡大～当科での適応～：勝野剛太郎、福永正氣、李 慶文、永仮邦彦、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、大内昌和、徳田恵美、須貝 歩、夕部由規謙.
第 24 回日本内視鏡外科学会総会 平成 23 年 12 月 8 日 大阪 (2011)

301. 腹腔鏡下大腸切除の肥満、癒着症例に対する対処：大内昌和、福永正氣、李 慶文、菅野雅彦、永仮邦彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、勝野剛太郎、平崎憲範、須貝 歩、夕部由規謙.
第 24 回日本内視鏡外科学会総会 平成 23 年 12 月 9 日 大阪 (2011)

302. 単孔式腹腔鏡下虫垂切除術と従来式腹腔鏡下虫垂切除術の比較検討：平崎憲範、福永正氣、永仮邦彦、李 慶文、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、勝野剛太郎、伊藤嘉智、大内昌和、夕部由規謙、須貝 歩.
第 24 回日本内視鏡外科学会総会 平成 23 年 12 月 9 日 大阪 (2011)

303. T2 および T3 胃癌に対する腹腔鏡下幽門側胃切除術の検討：李 慶文、福永正氣、永仮邦彦、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、勝野剛太郎、伊藤嘉智、

大内昌和、平崎憲範、須貝 歩、夕部由規謙、徳田恵美.

第 24 回日本内視鏡外科学会総会 平成 23 年 12 月 9 日 大阪 (2011)

304. 当科における腹腔鏡下大腸切除における偶発症症例の検討：伊藤嘉智、福永正氣、李 慶文、永仮邦彦、菅野雅彦、飯田義人、須田 健、吉川征一郎、大内昌和、勝野剛太郎、平崎憲範.

第 24 回日本内視鏡外科学会総会 平成 23 年 12 月 7 日 大阪 (2011)

305. 左側結腸・直腸癌に対する単孔式手術：永仮邦彦、福永正氣、李 慶文、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、平崎憲範.

第 24 回日本内視鏡外科学会総会 平成 23 年 12 月 9 日 大阪 (2011)

306. 内視鏡摘除後の大腸 SM 癌の追加切除症例からみた大腸癌治療ガイドラインにかかわる問題点：菅野雅彦、福永正氣、夕部由規謙、須貝 歩、平崎憲範、徳田恵美、大内昌和、伊藤嘉智、勝野剛太郎、吉川征一郎、飯田義人、須田 健、永仮邦彦、李 慶文.

第 76 回大腸癌研究会 平成 24 年 1 月 20 日 宇都宮 (2012)

307. オーダーメイド胃癌治療に向けた胃癌腫瘍浸潤リンパ球の制御性 T 細胞の有用性：菅野雅彦、福永正氣、須貝 歩、平崎憲範、大内昌和、伊藤嘉智、勝野剛太郎、吉川征一郎、飯田義人、須田 健、永仮邦彦、李 慶文.

第 112 回日本外科学会総会 平成 24 年 4 月 13 日 千葉 (2012)

308. 大腸癌に対する単孔式腹腔鏡手術一次世代手術となり得るか？－：

福永正氣、李 慶文、菅野雅彦、永仮邦彦、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、勝野剛太郎、大内昌和、平崎憲範、須貝 歩.

第 112 回日本外科学会総会 平成 24 年 4 月 12 日 千葉 (2012)

309. 穿孔・膿瘍形成憩室炎治療 (Hinchey stage I and II) に対する腹腔鏡下 VS 開腹大腸切除術：勝野剛太郎、福永正氣、李 慶文、菅野雅彦、永仮邦彦、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、大内昌和、平崎憲範、須貝 歩.

第 112 回日本外科学会総会 平成 24 年 4 月 12 日 千葉 (2012)

310. 直腸癌に対する腹腔鏡下側方郭清術：永仮邦彦、福永正氣、李 慶文、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、徳田恵美、平崎憲範、夕部由規謙、須貝 歩.

第 112 回日本外科学会総会 平成 24 年 4 月 14 日 千葉 (2012)

311. 横行結腸癌に対する腹腔鏡下手術：平崎憲範、福永正氣、永仮邦彦、菅野雅彦、李 慶文、飯田義人、須田 健、吉川征一郎、大内昌和、勝野剛太郎、伊藤嘉智、

徳田恵美、夕部由規謙、須貝 歩.

第 112 回日本外科学会総会 平成 24 年 4 月 14 日 千葉 (2012)

312. 直腸癌に対する内視鏡外科手術の長期成績：大内昌和、福永正氣、李 慶文、菅野雅彦、永仮邦彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、勝野剛太郎、平崎憲範.

第 112 回日本外科学会総会 平成 24 年 4 月 14 日 千葉 (2012)

313. 腹腔鏡下横行結腸切除術の頭側、尾側からのアプローチ法：永仮邦彦、福永正氣、李 慶文、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、徳田恵美、平崎憲範.

第 37 回日本外科系連合学会学術集会 平成 24 年 6 月 28 日 福岡 (2012)

314. センチネルリンパ節転移陽性 T1 乳癌における腋窩郭清縮小の可能性の検討：徳田恵美、福永正氣、李 慶文、菅野雅彦、永仮邦彦、須田 健、吉川征一郎、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、平崎憲範.

第 20 回日本乳癌学会総会 平成 24 年 6 月 30 日 熊本 (2012)

315. アブラキサンによる術前化学療法の有効性と安全性：須田 健、福永正氣、菅野雅彦、永仮邦彦、吉川征一郎、伊藤嘉智、勝野剛太郎、徳田恵美、平崎憲範、東 大輔.

第 20 回日本乳癌学会総会 平成 24 年 6 月 28 日 熊本 (2012)

316. 比較的緩徐な経過を呈した純粋型乳腺扁平上皮癌の 1 例：東 大輔、福永正氣、菅野雅彦、永仮邦彦、須田 健、吉川征一郎、伊藤嘉智、勝野剛太郎、徳田恵美、平崎憲範.

第 20 回日本乳癌学会総会 平成 24 年 6 月 30 日 熊本 (2012)

317. 乳腺悪性リンパ腫の 1 例：夕部由規謙、福永正氣、李 慶文、菅野雅彦、永仮邦彦、須田 健、吉川征一郎、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、徳田恵美、平崎憲範.

第 20 回日本乳癌学会総会 平成 24 年 6 月 30 日 熊本 (2012)

318. 76 歳以上の高齢者大腸癌における化学療法の現状：菅野雅彦、福永正氣、東 大輔、呉 一眞、平崎憲範、徳田恵美、大内昌和、伊藤嘉智、勝野剛太郎、吉川征一郎、須田 健、飯田義人、永仮邦彦、李 慶文.

第 77 回大腸癌研究会 平成 24 年 7 月 6 日 東京 (2012)

319. オーダーメイド胃癌治療に向けた制御性 T 細胞の解析：菅野雅彦、福永正氣、平崎憲範、大内昌和、伊藤嘉智、勝野剛太郎、吉川征一郎、飯田義人、永仮邦彦、李 慶文.

第 67 回日本消化器外科学会総会 平成 24 年 7 月 18 日 富山 (2012)

320. 腹腔鏡下緩和手術の検討：吉川征一郎、福永正氣、永仮邦彦、李 慶文、菅野雅彦、須田 健、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、平崎憲範、飯田義人。

第 67 回日本消化器外科学会総会 平成 24 年 7 月 18 日 富山 (2012)

321. 腹腔鏡下横行結腸切除術の挟撃アプローチ法：永仮邦彦、福永正氣、李 慶文、菅野雅彦、飯田義人、吉川征一郎、大内昌和、伊藤嘉智、勝野剛太郎、平崎憲範。

第 67 回日本消化器外科学会総会 平成 24 年 7 月 18 日 富山 (2012)

322. 腹腔鏡下直腸癌手術における側方郭清の現状：大内昌和、福永正氣、李 慶文、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、勝野剛太郎。

第 67 回日本消化器外科学会総会 平成 24 年 7 月 18 日 富山 (2012)

323. 大腸癌に対する単孔式腹腔鏡下手術(Single Incision Laparoscopic Colectomy:SILC)の可能性：勝野剛太郎、福永正氣、李 慶文、菅野雅彦、永仮邦彦、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎。

第 67 回日本消化器外科学会総会 平成 24 年 7 月 19 日 富山 (2012)

324. 超高齢者胃癌に対する腹腔鏡下幽門側胃切除術の検討：李 慶文、福永正氣、菅野雅彦、永仮邦彦、飯田義人、吉川征一郎、勝野剛太郎、伊藤嘉智、大内昌和、平崎憲範。

第 67 回日本消化器外科学会総会 平成 24 年 7 月 19 日 富山 (2012)

325. 急性胆嚢炎に対する単孔式腹腔鏡下胆嚢摘出術の検討：飯田義人、福永正氣、李 慶文、永仮邦彦、菅野雅彦、吉川征一郎、勝野剛太郎、伊藤嘉智、大内昌和、夕部由規謙。

第 67 回日本消化器外科学会総会 平成 24 年 7 月 20 日 富山 (2012)

326. 横行結腸癌に対する腹腔鏡下手術：福永正氣、李 慶文、菅野雅彦、永仮邦彦、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、勝野剛太郎、大内昌和、平崎憲範。

第 67 回日本消化器外科学会総会 平成 24 年 7 月 20 日 富山 (2012)

327. 術前化学療法が著効した腹壁浸潤を伴う上行結腸癌の 1 例：森重侑樹、福永正氣、李 慶文、永仮邦彦、菅野雅彦、飯田義人、須田 健、吉川征一郎、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、徳田恵美、平崎憲範、呉 一眞、東 大輔、木所昭夫。

第 826 回外科集談会 平成 24 年 9 月 1 日 つくば (2012)

328. 大腸癌に対する Single Incision Laparoscopic Colectomy(SILC): 勝野剛太郎、福永正氣、李 慶文、菅野雅彦、永仮邦彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、大内昌和、伊藤嘉智、徳田恵美、東 大輔。

Reduced Port Surgery Forum（第6回 単孔式内視鏡手術研究会）

平成24年8月24日 札幌（2012）

329. 単孔式腹腔鏡下虫垂切除術の安全性・有用性の検討：平崎憲範、福永正氣、李 慶文、菅野雅彦、永仮邦彦、飯田義人、須田 健、吉川征一郎、大内昌和、伊藤嘉智、勝野剛太郎、徳田恵美、呉 一眞、東 大輔.

Reduced Port Surgery Forum（第6回 単孔式内視鏡手術研究会）

330. 結腸憩室炎に対する腹腔鏡下大腸切除術：勝野剛太郎、福永正氣、李 慶文、菅野雅彦、永仮邦彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、大内昌和、伊藤嘉智、徳田恵美、平崎憲範.

JDDW 2012 20回（第10回日本消化器外科学会大会）平成24年10月12日
神戸（2012）

331. 76歳以上高齢者大腸癌に対する癌薬物療法の現状：菅野雅彦、福永正氣、東 大輔、呉 一眞、平崎憲範、徳田恵美、伊藤嘉智、勝野剛太郎、大内昌和、吉川征一郎、飯田義人、須田 健、永仮邦彦、李 慶文、木所昭夫.

第50回日本癌治療学会学術集会 平成24年10月27日 横浜（2012）

332. 骨髄癌腫症で発見された内分泌治療が奏功した浸潤性小葉癌の1例：徳田恵美、福永正氣、永仮邦彦、李 慶文、菅野雅彦、飯田義人、須田 健、吉川征一郎、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、平崎憲範、呉 一眞、東 大輔、鈴木不二夫.

第50回日本癌治療学会学術集会 平成24年10月27日 横浜（2012）

333. 早期大腸癌における単孔式腹腔鏡下手術の有用性：菅野雅彦、福永正氣、勝野剛太郎、大内昌和、永仮邦彦.

第67回日本大腸肛門病学会学術集会 平成24年11月16日 福岡（2012）

334. 直腸癌に対する腹腔鏡下手術の工夫：永仮邦彦、福永正氣、菅野雅彦、須田 健、大内昌和、勝野剛太郎、呉 一眞.

第67回日本大腸肛門病学会学術集会 平成24年11月17日 福岡（2012）

335. 乳癌脈絡膜転移の2例：田中真祐美、福永正氣、李 慶文、菅野雅彦、永仮邦彦、須田 健、吉川征一郎、伊藤嘉智、徳田恵美、平崎憲範、東 大輔.

第9回日本乳癌学会関東地方会 平成24年12月1日 大宮（2012）

336. 慢性腎不全維持透析患者における癌治療の検討：菅野雅彦、福永正氣、東、大輔、呉 一眞、平崎憲範、徳田恵美、大内昌和、伊藤嘉智、勝野剛太郎、吉川征一郎、須田 健、飯田義人、永仮邦彦、李 慶文.

第74回日本臨床外科学会大会 平成24年11月26日 東京（2012）

337. 大腸癌に対する単孔式腹腔鏡下大腸切除術と reduced port surgery の現状～当科での適応と手術手技～：勝野剛太郎、福永正氣、李 慶文、菅野雅彦、永仮邦彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、大内昌和、徳田恵美、平崎憲範、呉 一眞、東、大輔.

第 74 回日本臨床外科学会大会 平成 24 年 11 月 29 日 東京 (2012)

338. 外科における緩和医療—腹腔鏡下緩和手術の評価—：吉川征一郎、福永正氣、李 慶文、永仮邦彦、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、大内昌和、伊藤嘉智、勝野剛太郎、平崎憲範、徳田恵美、呉 一眞、東、大輔.

第 74 回日本臨床外科学会大会 平成 24 年 11 月 26 日 東京 (2012)

339. 当科における腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術(TAPP)の現状と手術成績：大内昌和、福永正氣、李 慶文、永仮邦彦、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、勝野剛太郎、徳田恵美、平崎憲範、呉 一眞、東、大輔.

第 74 回日本臨床外科学会大会 平成 24 年 11 月 29 日 東京 (2012)

340. 腹腔鏡下虫垂切除術の術式選択—多孔式、2 孔式、単孔式手術—：平崎憲範、福永正氣、李 慶文、菅野雅彦、永仮邦彦、飯田義人、吉川征一郎、須田 健、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、徳田恵美、呉 一眞、東、大輔.

第 74 回日本臨床外科学会大会 平成 24 年 11 月 30 日 東京 (2012)

341. 進行胃癌に対する腹腔鏡下幽門側胃切除術の検討：李 慶文、福永正氣、菅野雅彦、永仮邦彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、勝野剛太郎、大内昌和、平崎憲範、徳田恵美、呉 一眞、東、大輔.

第 74 回日本臨床外科学会大会 平成 24 年 11 月 30 日 東京 (2012)

342. 進行大腸癌の腹腔鏡下手術の適応：永仮邦彦、福永正氣、李 慶文、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、徳田恵美、平崎憲範、呉 一眞、東、大輔.

第 74 回日本臨床外科学会大会 平成 24 年 11 月 29 日 東京 (2012)

343. 乳腺手術における azithromycin 経口投与の Surgical Site Infection(SSI)発生予防効果について：伊藤嘉智、福永正氣、李 慶文、永仮邦彦、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、大内昌和、勝野剛太郎、徳田恵美、平崎憲範、呉 一眞、東、大輔.

第 74 回日本臨床外科学会大会 平成 24 年 11 月 30 日 東京 (2012)

344. 当院での乳癌手術における乳房の整容性の向上に対する取り組み：徳田恵美、福永正氣、李 慶文、永仮邦彦、菅野雅彦、飯田義人、須田 健、吉川征一郎、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、平崎憲範、小室裕造、小泉拓也、

望月真理子 呉 一眞.

第 74 回日本臨床外科学会大会 平成 24 年 11 月 29 日 東京 (2012)

345. 慢性腎不全維持透析患者の消化器疾患における腹腔鏡下手術の検討：菅野雅彦、福永正氣、東、大輔、呉 一眞、平崎憲範、徳田恵美、大内昌和、伊藤嘉智、勝野剛太郎、吉川征一郎、須田 健、飯田義人、永仮邦彦、李 慶文.

第 25 回日本内視鏡外科学会総会 平成 24 年 12 月 8 日 横浜 (2012)

346. 大腸癌に対する単孔式腹腔鏡下大腸切除・**reduced port surgery** の利点・欠点：勝野剛太郎、福永正氣、李 慶文、菅野雅彦、永仮邦彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、大内昌和、徳田恵美、平崎憲範、東、大輔.

第 25 回日本内視鏡外科学会総会 平成 24 年 12 月 8 日 横浜 (2012)

347. 腹腔鏡下直腸癌手術におけるステープリングデバイスの適切な選択と使用方法：平崎憲範、福永正氣、李 慶文、永仮邦彦、菅野雅彦、飯田義人、須田 健、吉川征一郎、大内昌和、勝野剛太郎、伊藤嘉智、徳田恵美、呉 一眞、東、大輔.

第 25 回日本内視鏡外科学会総会 平成 24 年 12 月 6 日 横浜 (2012)

348. 鋭的腹部外傷に対して腹腔鏡下手術はどこまで貢献できるか？：伊藤嘉智、福永正氣、李 慶文、菅野雅彦、永仮邦彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、大内昌和、勝野剛太郎、徳田恵美、平崎憲範、呉 一眞、東、大輔.

第 25 回日本内視鏡外科学会総会 平成 24 年 12 月 7 日 横浜 (2012)

349. **Advanced Laparoscopic Surgery** における術中出血対応の検討：吉川征一郎、福永正氣、李 慶文、永仮邦彦、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、大内昌和、伊藤嘉智、勝野剛太郎、徳田恵美、平崎憲範、呉 一眞、東、大輔.

第 25 回日本内視鏡外科学会総会 平成 24 年 12 月 6 日 横浜 (2012)

350. 肥満患者における腹腔鏡下直腸癌手術の工夫：大内昌和、福永正氣、李 慶文、永仮邦彦、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、勝野剛太郎、徳田恵美、平崎憲範、呉 一眞、東、大輔.

第 25 回日本内視鏡外科学会総会 平成 24 年 12 月 7 日 横浜 (2012)

351. 当科における腹腔鏡下消化器外科のトレーニングの現状：飯田義人、福永正氣、永仮邦彦、李 慶文、菅野雅彦、吉川征一郎、伊藤嘉智、勝大内昌和、野剛太郎、平崎憲範、呉 一眞.

第 25 回日本内視鏡外科学会総会 平成 24 年 12 月 8 日 横浜 (2012)

352. 進行胃癌に対する腹腔鏡下幽門側胃切除術の検討：李 慶文、福永正氣、菅野雅彦、永仮邦彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、勝野剛太郎、大内昌和、

平崎憲範、徳田恵美、呉 一眞、東、大輔.

第 25 回日本内視鏡外科学会総会 平成 24 年 12 月 8 日 横浜 (2012)

353. 大腸癌に対する単孔・Reduced Port Surgery の現状と将来：永仮邦彦、福永正氣、李 慶文、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、徳田恵美、平崎憲範、呉 一眞、東、大輔.

第 25 回日本内視鏡外科学会総会 平成 24 年 12 月 8 日 横浜 (2012)

354. 当科における腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術(TAPP)の現状：大内昌和、福永正氣、永仮邦彦、菅野雅彦、李 慶文、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、勝野剛太郎、徳田恵美、平崎憲範、呉 一眞、東、大輔.

第 25 回日本内視鏡外科学会総会 平成 24 年 12 月 8 日 横浜 (2012)

355. ガイドラインに基づいた胆嚢炎治療の検討：飯田義人、福永正氣、李 慶文、永仮邦彦、菅野雅彦、吉川征一郎、伊藤嘉智、勝野剛太郎、大内昌和、平崎憲範、東 大輔、小浜信太郎、野本 潤.

第 49 回日本腹部救急学会総会 平成 25 年 3 月 14 日 東京 (2013)

356. 腹部救急疾患に対する内視鏡外科手術：吉川征一郎、福永正氣、永仮邦彦、李 慶文、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、徳田恵美、平崎憲範、呉 一眞、東、大輔.

第 49 回日本腹部救急学会総会 平成 25 年 3 月 14 日 東京 (2013)

357. 急性虫垂炎に対する治療方針—腹腔鏡手術の立場から—：平崎憲範、福永正氣、李 慶文、菅野雅彦、永仮邦彦、飯田義人、須田 健、吉川征一郎、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、東、大輔、小浜信太郎、野本 潤.

第 49 回日本腹部救急学会総会 平成 25 年 3 月 14 日 東京 (2013)

358. 大網を内容とした食道裂孔ヘルニアに対し単孔式腹腔鏡下手術を施行した一例：東 大輔、福永正氣、李 慶文、菅野雅彦、永仮邦彦、須田 健、飯田義人、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、徳田恵美、平崎憲範、呉 一眞.

第 49 回日本腹部救急学会総会 平成 25 年 3 月 14 日 東京 (2013)

359. 海藻による食餌性イレウスの 1 例：野本 潤、福永正氣、李 慶文、菅野雅彦、永仮邦彦、須田 健、飯田義人、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、徳田恵美、平崎憲範、呉 一眞、東 大輔.

第 49 回日本腹部救急学会総会 平成 25 年 3 月 14 日 東京 (2013)

360. 80 歳以上の超高齢者大腸癌における腹腔鏡下大腸手術症例の検討：

菅野雅彦、福永正氣、東、大輔、呉 一眞、平崎憲範、徳田恵美、大内昌和、

伊藤嘉智、勝野剛太郎、吉川征一郎、須田 健、飯田義人、永仮邦彦、李 慶文.
第 113 回日本外科学会総会 平成 25 年 4 月 13 日 福岡 (2013)

361. 腹腔鏡下横行結腸切除術におけるリンパ節郭清の工夫：永仮邦彦、福永正氣、
李 慶文、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、大内昌和、
勝野剛太郎、徳田恵美、平崎憲範、呉 一眞、東 大輔.
第 113 回日本外科学会総会 平成 25 年 4 月 11 日 福岡 (2013)

362. 大腸癌に対する単孔式腹腔鏡下大腸切除術と reduced port surgery の現状：
勝野剛太郎、福永正氣、李 慶文、永仮邦彦、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、
吉川征一郎、伊藤嘉智、大内昌和、徳田恵美、平崎憲範、東、大輔.
第 113 回日本外科学会総会 平成 25 年 4 月 11 日 福岡 (2013)

363. 腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術 (TAPP) の現状と手術成績：大内昌和、福永正氣、
永仮邦彦、菅野雅彦、李 慶文、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、
勝野剛太郎、徳田恵美、平崎憲範、呉 一眞、東、大輔.
第 113 回日本外科学会総会 平成 25 年 4 月 12 日 福岡 (2013)

364. 腹腔鏡下緩和手術—開腹手術との比較検討—：吉川征一郎、福永正氣、李 慶文、
永仮邦彦、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、大内昌和、勝野剛太郎、徳田恵美、
平崎憲範、呉 一眞、東、大輔.
第 113 回日本外科学会総会 平成 25 年 4 月 11 日 福岡 (2013)

365. 大腸穿孔に対して腹腔鏡手術はどこまで可能か：伊藤嘉智、福永正氣、李 慶文、
菅野雅彦、永仮邦彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、大内昌和、勝野剛太郎、
徳田恵美、平崎憲範、呉 一眞、東 大輔.
第 113 回日本外科学会総会 平成 25 年 4 月 12 日 福岡 (2013)

366. 単孔式腹腔鏡下虫垂切除術の検討：平崎憲範、福永正氣、李 慶文、菅野雅彦、
永仮邦彦、飯田義人、吉川征一郎、須田 健、伊藤嘉智、勝野剛太郎、大内昌和、
徳田恵美、呉 一眞、東 大輔.
第 113 回日本外科学会総会 平成 25 年 4 月 12 日 福岡 (2013)

367. 乳癌術後局所再発症例に対するセンチネルリンパ節生検の有用性について：徳田恵美、
福永正氣、李 慶文、永仮邦彦、菅野雅彦、飯田義人、須田 健、吉川征一郎、
伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、平崎憲範、呉 一眞、東 大輔.
第 113 回日本外科学会総会 平成 25 年 4 月 13 日 福岡 (2013)

368. 化学療法前 N O 乳癌に対するセンチネルリンパ節：須田 健、福永正氣、李 慶文、
菅野雅彦、永仮邦彦、吉川征一郎、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、平崎憲範、

伊藤真由子、東 大輔、小浜信太郎、野本 潤.

第 21 回日本乳癌学会総会 平成 25 年 6 月 浜松 (2013)

369. センチネルリンパ節生検を施行した男性乳癌の 2 例: 東 大輔、福永正氣、李 慶文、菅野雅彦、永仮邦彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、伊藤真由子、平崎憲範、小浜信太郎、野本 潤、泉 浩、橋爪 茜.
第 21 回日本乳癌学会総会 平成 25 年 6 月 浜松 (2013)

370. 腹腔鏡下大腸肝同時切除の検討: 飯田義人、福永正氣、李 慶文、永仮邦彦、菅野雅彦、吉川征一郎、伊藤嘉智、勝野剛太郎、大内昌和、平崎憲範、東 大輔、小浜信太郎、野本 潤. 第 25 回日本肝胆膵外科学術集会 平成 25 年 6 月 13 日
栃木 (2013)

371. 2 領域の多発乳癌に対する傍乳輪全周切開法による乳房温存手術: 須田 健、福永正氣、李 慶文、菅野雅彦、永仮邦彦、吉川征一郎、伊藤嘉智、伊藤真由子.
第 1 回日本乳房オンコプラスチックサージャーリー学会総会
平成 25 年 9 月 福岡 (2013)

372. 癌の個別化治療に向けた制御性 T 細胞の解析: 菅野雅彦、福永正氣、平崎憲範、大内昌和、伊藤嘉智、勝野剛太郎、吉川征一郎、飯田義人、永仮邦彦、李 慶文.
第 68 回日本消化器外科学会総会 平成 25 年 7 月 19 日 宮崎 (2013)

373. 消化器外科医の行う緩和医療: 吉川征一郎、福永正氣、李 慶文、永仮邦彦、菅野雅彦、飯田義人、大内昌和、平崎憲範、東、大輔.
第 68 回日本消化器外科学会総会 平成 25 年 7 月 18 日 宮崎 (2013)

374. 腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術(TAPP)の現状と手術成績: 大内昌和、福永正氣、永仮邦彦、菅野雅彦、李 慶文、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、勝野剛太郎、平崎憲範.
第 68 回日本消化器外科学会総会 平成 25 年 7 月 19 日 宮崎 (2013)

375. 大腸癌に対する単孔式腹腔鏡下大腸切除術の現状と工夫: 勝野剛太郎、福永正氣、李 慶文、菅野雅彦、永仮邦彦、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、大内昌和、平崎憲範.
第 68 回日本消化器外科学会総会 平成 25 年 7 月 18 日 宮崎 (2013)

376. 急性胆嚢炎に対する腹腔鏡下胆嚢摘出術の検討: 飯田義人、福永正氣、永仮邦彦、李 慶文、菅野雅彦、吉川征一郎、大内昌和、勝野剛太郎、伊藤嘉智、東 大輔.
第 68 回日本消化器外科学会総会 平成 25 年 7 月 19 日 宮崎 (2013)

377. 横行結腸癌に対する腹腔鏡下切除の実際と工夫：永仮邦彦、福永正氣、李 慶文、菅野雅彦、飯田義人、吉川征一郎、大内昌和、伊藤嘉智、勝野剛太郎、平崎憲範

第 68 回日本消化器外科学会総会 平成 25 年 7 月 19 日 宮崎 (2013)

378. 85 歳以上の超高齢者大腸癌における腹腔鏡下大腸手術症例の検討：菅野雅彦、福永正氣、大内昌和、勝野剛太郎、永仮邦彦.

第 68 回日本大腸肛門病学会学術集会 平成 25 年 11 月 15 日 東京 (2013)

379. 大腸癌に対する Single incision laparoscopic surgery(SILC)の現状と展望 (Multi-port surgery にとって代われる術式になりえるのか?)：勝野剛太郎、福永正氣、永仮邦彦、菅野雅彦、大内昌和.

第 68 回日本大腸肛門病学会学術集会 平成 25 年 11 月 15 日 東京 (2013)

380. 高齢者大腸癌に対する腹腔鏡下大腸手術症例からみた治療選択：菅野雅彦、福永正氣、野本 潤、小浜信太郎、東、大輔、伊藤真由子、平崎憲範、大内昌和、伊藤嘉智、勝野剛太郎、吉川征一郎、須田 健、飯田義人、永仮邦彦、李 慶文.

第 75 回日本臨床外科学会大会 平成 25 年 11 月 22 日 名古屋 (2013)

381. 下行結腸癌に対する腹腔鏡下手術：永仮邦彦、福永正氣、李 慶文、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、平崎憲範、伊藤真由子、東 大輔、小浜信太郎、野本 潤.

第 75 回日本臨床外科学会大会 平成 25 年 11 月 22 日 名古屋 (2013)

382. 合併症を有する憩室炎治療に対する治療戦略—Hinchey stage 別にみた腹腔鏡下手術治療のタイミング—：勝野剛太郎、福永正氣、李 慶文、永仮邦彦、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、大内昌和、伊藤真由子、平崎憲範、東 大輔、小浜信太郎、野本 潤.

第 75 回日本臨床外科学会大会 平成 25 年 11 月 23 日 名古屋 (2013)

383. 腹腔鏡下腹壁癒痕ヘルニア手術手技と治療成績：大内昌和、福永正氣、永仮邦彦、菅野雅彦、李 慶文、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、勝野剛太郎、平崎憲範、東、大輔、小浜信太郎、野本 潤.

第 75 回日本臨床外科学会大会 平成 25 年 11 月 23 日 名古屋 (2013)

384. 大腸癌に対する Single/Reduced Port Surgery の現状と展望：勝野剛太郎、福永正氣、李 慶文、永仮邦彦、菅野雅彦、飯田義人、須田 健、吉川征一郎、伊藤嘉智、大内昌和、伊藤真由子、平崎憲範、東 大輔、小浜信太郎、野本 潤.

第 75 回日本臨床外科学会大会 平成 25 年 11 月 23 日 名古屋 (2013)

385. Surgical Site Infection(SSI)予防薬としての Azithromycin の意義：伊藤嘉智、福永正氣、李 慶文、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、大内昌和、勝野剛太郎、平崎憲範、伊藤真由子、東 大輔、小浜信太郎、野本 潤。
第 75 回日本臨床外科学会大会 平成 25 年 11 月 21 日 名古屋 (2013)

386. 当科における完全腹腔鏡下幽門側胃切除術の手技と成績：李 慶文、福永正氣、永仮邦彦、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、勝野剛太郎、大内昌和、伊藤嘉智、平崎憲範、伊藤真由子、東 大輔、小浜信太郎、野本 潤。
第 75 回日本臨床外科学会大会 平成 25 年 11 月 22 日 名古屋 (2013)

387. 腹腔鏡下大腸切除における偶発症の検討：伊藤嘉智、福永正氣、李 慶文、永仮邦彦、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、大内昌和、勝野剛太郎、平崎憲範、伊藤真由子、東 大輔、小浜信太郎、野本 潤。
第 75 回日本臨床外科学会大会 平成 25 年 11 月 21 日 名古屋 (2013)

388. 緩和ケアチームにおける外科医の役割：吉川征一郎、福永正氣、李 慶文、永仮邦彦、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、平崎憲範、伊藤真由子、東 大輔、小浜信太郎、野本 潤。
第 75 回日本臨床外科学会大会 平成 25 年 11 月 21 日 名古屋 (2013)

389. 成人腸重積症における腹腔鏡下手術の有用性の検討：菅野雅彦、福永正氣、野本 潤、小浜信太郎、東、大輔、伊藤真由子、平崎憲範、大内昌和、伊藤嘉智、勝野剛太郎、吉川征一郎、須田 健、飯田義人、永仮邦彦、李 慶文。
第 26 回日本内視鏡外科学会総会 平成 25 年 11 月 29 日 福岡 (2013)

390. 左側横行結腸癌/下行結腸癌の手術：剥離・吻合のコツ：永仮邦彦、福永正氣、李 慶文、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、平崎憲範、東 大輔、小浜信太郎、野本 潤。
第 26 回日本内視鏡外科学会総会 平成 25 年 11 月 30 日 福岡 (2013)

391. 進行胃癌に対する腹腔鏡下幽門側胃切除術の治療成績：李 慶文、福永正氣、永仮邦彦、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、勝野剛太郎、大内昌和、伊藤嘉智、平崎憲範、伊藤真由子、東 大輔、小浜信太郎、野本 潤。
第 26 回日本内視鏡外科学会総会 平成 25 年 11 月 29 日 福岡 (2013)

392. 緩和治療領域における内視鏡外科手術の有用性：吉川征一郎、福永正氣、李 慶文、永仮邦彦、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、平崎憲範、伊藤真由子、東 大輔、小浜信太郎、野本 潤。
第 26 回日本内視鏡外科学会総会 平成 25 年 11 月 28 日 福岡 (2013)

393. 単孔式腹腔鏡下胆嚢摘出術の拡大適応症例の検討：飯田義人、福永正氣、永俣邦彦、李 慶文、菅野雅彦、勝野剛太郎、大内昌和、伊藤嘉智、平崎憲範、東 大輔、小浜信太郎、野本 潤.

第 26 回日本内視鏡外科学会総会 平成 25 年 11 月 30 日 福岡 (2013)

394. 単孔式腹腔鏡手術のトレーニング：平崎憲範、福永正氣、永俣邦彦、菅野雅彦、李 慶文、吉川征一郎、須田 健、飯田義人、勝野剛太郎、大内昌和、伊藤嘉智、東 大輔、小浜信太郎、野本 潤.

第 26 回日本内視鏡外科学会総会 平成 25 年 11 月 29 日 福岡 (2013)

395. 胃・十二指腸潰瘍穿孔に対する治療手段としての腹腔鏡手術の標準化を目指す：伊藤嘉智、福永正氣、李 慶文、永俣邦彦、菅野雅彦、飯田義人、須田 健、吉川征一郎、大内昌和、勝野剛太郎、平崎憲範、東 大輔、小浜信太郎、野本 潤.

第 26 回日本内視鏡外科学会総会 平成 25 年 11 月 29 日 福岡 (2013)

396. 膜構造を意識した腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術(TAPP)：大内昌和、福永正氣、永俣邦彦、菅野雅彦、李 慶文、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、勝野剛太郎、平崎憲範、東、大輔、小浜信太郎、野本 潤.

第 26 回日本内視鏡外科学会総会 平成 25 年 11 月 28 日 福岡 (2013)

397. 乳癌と同時切除を行った子宮筋腫腹壁再発の一例：野本 潤、福永正氣、李 慶文、永俣邦彦、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、伊藤真由子、平崎憲範、東 大輔、小浜信太郎.

第 831 回外科集談会 平成 25 年 12 月 21 日 東京 (2013)

398. IV 型ヘルニアを合併した閉鎖孔ヘルニアの 1 例：東 大輔、福永正氣、李 慶文、菅野雅彦、永俣邦彦、飯田義人、須田 健、吉川征一郎、大内昌和、伊藤嘉智、勝野剛太郎、平崎憲範、伊藤真由子、小浜信太郎、野本 潤.

第 9 回千葉ヘルニア研究会 平成 26 年 2 月 15 日 千葉 (2014)

399. 消化管穿孔を合併した膠原病疾患 6 症例の検討：東 大輔、福永正氣、李 慶文、菅野雅彦、永俣邦彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、平崎憲範、伊藤真由子、小浜信太郎、野本 潤.

第 50 回日本腹部救急医学会総会 平成 26 年 3 月 7 日 東京 (2014)

400. 当院における癒着性・絞扼性イレウスに対する腹腔鏡下手術の現状：小浜信太郎、福永正氣、李 慶文、永俣邦彦、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、伊藤真由子、平崎憲範、東 大輔、野本 潤.

第 50 回日本腹部救急医学会総会 平成 26 年 3 月 7 日 東京 (2014)

401. 穿孔性腹膜炎で発症した小腸 GIST に対し腹腔鏡下切除を施行した 1 例：野本 潤、福永正氣、李 慶文、菅野雅彦、永仮邦彦、飯田義人、須田 健、吉川征一郎、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、平崎憲範、伊藤真由子、東 大輔、小浜信太郎。
第 50 回日本腹部救急医学会総会 平成 26 年 3 月 7 日 東京 (2014)

402. 術後全身管理に難渋した BMI:48 高度肥満を伴う S 状結腸癌穿孔性腹膜炎・腹腔内膿瘍の 1 例：小山美佳、福永正氣、李 慶文、永仮邦彦、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、伊藤真由子、平崎憲範、東 大輔、小浜信太郎 野本 潤。
第 50 回日本腹部救急医学会総会 平成 26 年 3 月 6 日 東京 (2014)

403. 腹部救急疾患に対する腹腔鏡下手術の役割：吉川征一郎、野本 潤、福永正氣、李 慶文、永仮邦彦、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、平崎憲範、伊藤真由子、東 大輔、小浜信太郎、野本 潤。
第 50 回日本腹部救急医学会総会 平成 26 年 3 月 6 日 東京 (2014)

404. オーダーメイド胃癌治療に向けた制御性 T 細胞(Treg)の解析：菅野雅彦、福永正氣、野本 潤、小浜信太郎、東、大輔、平崎憲範、大内昌和、伊藤嘉智、勝野剛太郎、吉川征一郎、須田 健、飯田義人、永仮邦彦、李 慶文。
第 114 回日本外科学会総会 平成 26 年 4 月 4 日 京都 (2014)

405. 腹腔鏡下結腸癌手術の郭清範囲と手術手技：永仮邦彦、福永正氣、李 慶文、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、大内昌和、伊藤嘉智、勝野剛太郎、平崎憲範。
第 114 回日本外科学会総会 平成 26 年 4 月 3 日 京都 (2014)

406. 腹腔鏡下緩和手術における合併症の評価：吉川征一郎、福永正氣、李 慶文、永仮邦彦、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、平崎憲範。
第 114 回日本外科学会総会 平成 26 年 4 月 4 日 京都 (2014)

407. 癒着・絞扼性イレウスに対する腹腔鏡 vs 開腹手術の比較検討：小浜信太郎、福永正氣、李 慶文、永仮邦彦、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、伊藤真由子、平崎憲範、東 大輔、野本 潤。
第 114 回日本外科学会総会 平成 26 年 4 月 3 日 京都 (2014)

408. 進行胃癌に対する腹腔鏡下幽門側胃切除術の検討：李 慶文、福永正氣、菅野雅彦、永仮邦彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、勝野剛太郎、大内昌和、平崎憲範、伊藤真由子、東 大輔、小浜信太郎、野本 潤。
第 114 回日本外科学会総会 平成 26 年 4 月 3 日 京都 (2014)

409. 当科における人工門閉鎖法の工夫：伊藤嘉智、福永正氣、李 慶文、菅野雅彦、永仮邦彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、大内昌和、勝野剛太郎、平崎憲範、東 大輔、小浜信太郎、野本 潤.

第 114 回日本外科学会総会 平成 26 年 4 月 4 日 京都 (2014)

411. 急性虫垂炎に対する治療方針：平崎憲範、福永正氣、菅野雅彦、永仮邦彦、李 慶文、飯田義人、大内昌和、伊藤嘉智、勝野剛太郎.

第 114 回日本外科学会総会 平成 26 年 4 月 4 日 京都 (2014)

412. 腫瘍占居部位からみた大腸癌に対する Single Port/Reduced Surgery のアプローチ：勝野剛太郎、福永正氣、李 慶文、永仮邦彦、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、大内昌和、平崎憲範、東 大輔、小浜信太郎、野本 潤.

第 114 回日本外科学会総会 平成 26 年 4 月 5 日 京都 (2014)

413. Vessel sealing system を使用した腋窩リンパ節郭清の検討：須田 健、福永正氣、李 慶文、菅野雅彦、永仮邦彦、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、伊藤真由子.

第 114 回日本外科学会総会 平成 26 年 4 月 4 日 京都 (2014)

414. 急性虫垂炎の治療方針：小浜信太郎、福永正氣、李 慶文、永仮邦彦、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、伊藤真由子、平崎憲範、東 大輔、野本 潤.

第 39 回日本外科系連合学会学術集会 平成 26 年 6 月 20 日 東京 (2014)

415. 高齢者大腸癌における腹腔鏡下大腸手術の適応拡大の検討：菅野雅彦、福永正氣、李 慶文、永仮邦彦、飯田義人、須田 健、吉川征一郎、勝野剛太郎、伊藤嘉智、大内昌和、平崎憲範、伊藤真由子、東、大輔、小浜信太郎、野本 潤.

第 81 回大腸癌研究会 平成 26 年 7 月 4 日 名古屋 (2014)

416. 高齢者大腸癌に対する腹腔鏡下大腸手術の適応拡大の意義：菅野雅彦、福永正氣、李 慶文、永仮邦彦、飯田義人、吉川征一郎、大内昌和、勝野剛太郎、伊藤嘉智、平崎憲範.

第 69 回日本消化器外科学会総会 平成 26 年 7 月 17 日 福島 (2014)

417. 当科における腹腔鏡下直腸低位前方切除術：平崎憲範、福永正氣、永仮邦彦、李 慶文、菅野雅彦、飯田義人、吉川征一郎、勝野剛太郎、大内昌和、伊藤嘉智.

第 69 回日本消化器外科学会総会 平成 26 年 7 月 17 日 福島 (2014)

418. 大腸癌に対する Single/Reduced port Surgery の安全な導入の工夫：勝野剛太郎、福永正氣、李 慶文、永仮邦彦、菅野雅彦、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、

大内昌和、平崎憲範.

第 69 回日本消化器外科学会総会 平成 26 年 7 月 18 日 福島 (2014)

419. 左側横行結腸癌に対する腹腔鏡下手術：永仮邦彦、福永正氣、李 慶文、菅野雅彦、飯田義人、吉川征一郎、大内昌和、伊藤嘉智、勝野剛太郎、平崎憲範.

第 69 回日本消化器外科学会総会 平成 26 年 7 月 18 日 福島 (2014)

420. 消化管穿孔に対する腹腔鏡下手術の有用性について：伊藤嘉智、福永正氣、李 慶文、菅野雅彦、永仮邦彦、吉川征一郎、大内昌和、平崎憲範、小浜信太郎、東 大輔.

第 69 回日本消化器外科学会総会 平成 26 年 7 月 18 日 福島 (2014)

421. 高齢者大腸癌における腹腔鏡下大腸手術からみた内視鏡外科の低侵襲性の評価：

菅野雅彦、福永正氣、李 慶文、永仮邦彦、飯田義人、須田 健、吉川征一郎、勝野剛太郎、伊藤嘉智、大内昌和、平崎憲範、伊藤真由子、東、大輔、小浜信太郎、野本 潤.

第 27 回日本内視鏡外科学会総会 平成 26 年 10 月 2 日 岩手 (2014)

422. 腹腔鏡下手術を施行した大網裂孔ヘルニアの一例：東 大輔、福永正氣、李 慶文、菅野雅彦、永仮邦彦、須田 健、吉川征一郎、大内昌和、伊藤嘉智、平崎憲範、飯田義人、伊藤真由子、小浜信太郎、野本 潤.

第 27 回日本内視鏡外科学会総会 平成 26 年 10 月 3 日 岩手 (2014)

423. 腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術(TAPP)と手術成績：大内昌和、福永正氣、永仮邦彦、菅野雅彦、李 慶文、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、勝野剛太郎、平崎憲範、東 大輔、小浜信太郎、野本 潤.

第 27 回日本内視鏡外科学会総会 平成 26 年 10 月 3 日 岩手 (2014)

424. Oncologic emergency に対する腹腔鏡下手術：吉川征一郎、福永正氣、李 慶文、永仮邦彦、菅野雅彦、飯田義人、須田 健、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、平崎憲範、伊藤真由子、東 大輔、小浜信太郎、野本 潤.

第 27 回日本内視鏡外科学会総会 平成 26 年 10 月 2 日 岩手 (2014)

425. 単孔式腹腔鏡下手術の創閉鎖手技：平崎憲範、福永正氣、永仮邦彦、李 慶文、菅野雅彦、飯田義人、吉川征一郎、勝野剛太郎、大内昌和、伊藤嘉智、東 大輔、小浜信太郎、野本 潤.

第 27 回日本内視鏡外科学会総会 平成 26 年 10 月 2 日 岩手 (2014)

426. 脾弯曲部の結腸癌に対する腹腔鏡下手術：永仮邦彦、福永正氣、李 慶文、菅野雅彦、飯田義人、吉川征一郎、大内昌和、伊藤嘉智、勝野剛太郎、平崎憲範、東 大輔、小浜信太郎、野本 潤.

第 27 回日本内視鏡外科学会総会 平成 26 年 10 月 4 日 岩手 (2014)

427. 急性胆嚢炎に対する腹腔鏡下胆嚢摘出困難例の手術手技：飯田義人、福永正氣、永俣邦彦、李 慶文、菅野雅彦、吉川征一郎、大内昌和、伊藤嘉智、勝野剛太郎、平崎憲範、小浜信太郎、野本 潤.

第 27 回日本内視鏡外科学会総会 平成 26 年 10 月 3 日 岩手 (2014)

428. 大腸癌に対する single-port surgery の現状と適応拡大：勝野剛太郎、福永正氣、李 慶文、永俣邦彦、菅野雅彦、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、大内昌和、平崎憲範、東 大輔、小浜信太郎、野本 潤.

第 27 回日本内視鏡外科学会総会 平成 26 年 10 月 2 日 岩手 (2014)

429. 早期大腸癌に対する単孔式腹腔鏡下手術の有用性：菅野雅彦、福永正氣、永俣邦彦、勝野剛太郎、大内昌和.

第 69 回日本大腸肛門病学会学術集会 平成 26 年 11 月 7 日 岩手 (2014)

430. 高齢者腹腔鏡下大腸癌手術後の合併症予測の検討：菅野雅彦、福永正氣、李 慶文、永俣邦彦、飯田義人、須田 健、吉川征一郎、勝野剛太郎、伊藤嘉智、大内昌和、平崎憲範、伊藤真由子、東 大輔、小浜信太郎、野本 潤.

第 76 回日本臨床外科学会総会 平成 26 年 11 月 22 日 福島 (2014)

431. 人工肛門閉鎖における環状縫合閉鎖法の有用性について：伊藤嘉智、福永正氣、李 慶文、永俣邦彦、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、大内昌和、勝野剛太郎、平崎憲範、伊藤真由子、東 大輔、小浜信太郎、野本 潤.

第 76 回日本臨床外科学会総会 平成 26 年 11 月 22 日 福島 (2014)

432. 安全で確実な腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術と手術成績：大内昌和、福永正氣、李 慶文、永俣邦彦、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、勝野剛太郎、平崎憲範、伊藤真由子、東 大輔、小浜信太郎、野本 潤.

第 76 回日本臨床外科学会総会 平成 26 年 11 月 20 日 福島 (2014)

433. 大腸癌 Single Port Surgery 困難症例への対応：勝野剛太郎、福永正氣、李 慶文、永俣邦彦、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、大内昌和、伊藤真由子、平崎憲範、東 大輔、小浜信太郎、野本 潤.

第 76 回日本臨床外科学会総会 平成 26 年 11 月 22 日 福島 (2014)

434. 腹腔鏡下胃切除術における術野展開～助手の役割～：李 慶文、福永正氣、永俣邦彦、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、勝野剛太郎、伊藤嘉智、大内昌和、平崎憲範、伊藤真由子、東 大輔、小浜信太郎、野本 潤.

第 76 回日本臨床外科学会総会 平成 26 年 11 月 20 日 福島 (2014)

435. 左側結腸・直腸癌に対する Reduced Port Surgery : 永仮邦彦、福永正氣、李 慶文、菅野雅彦、須田 健、飯田義人、吉川征一郎、伊藤嘉智、大内昌和、勝野剛太郎、平崎憲範、伊藤真由子、東 大輔、小浜信太郎、野本 潤.

第 76 回日本臨床外科学会総会 平成 26 年 11 月 21 日 福島 (2014)